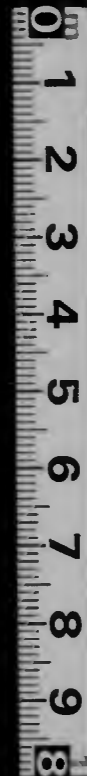


享和二年日記

冬秋



内閣文庫	
番號	和 30788
冊數	126 (86)
函號	160 136

内閣文庫	
番號	和 30788
冊數	126 (86)
函號	160 136

享和二年日記

冬秋

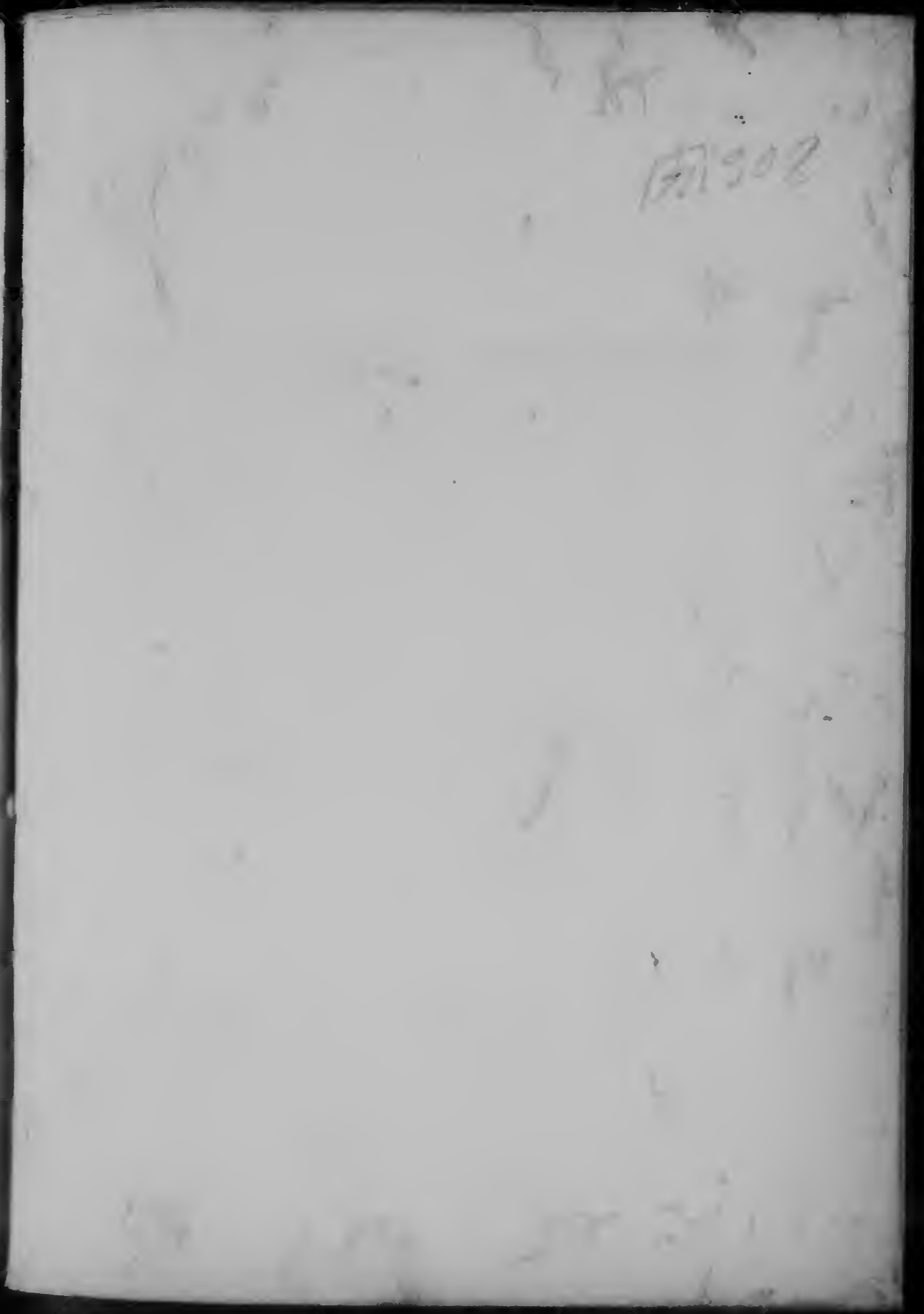
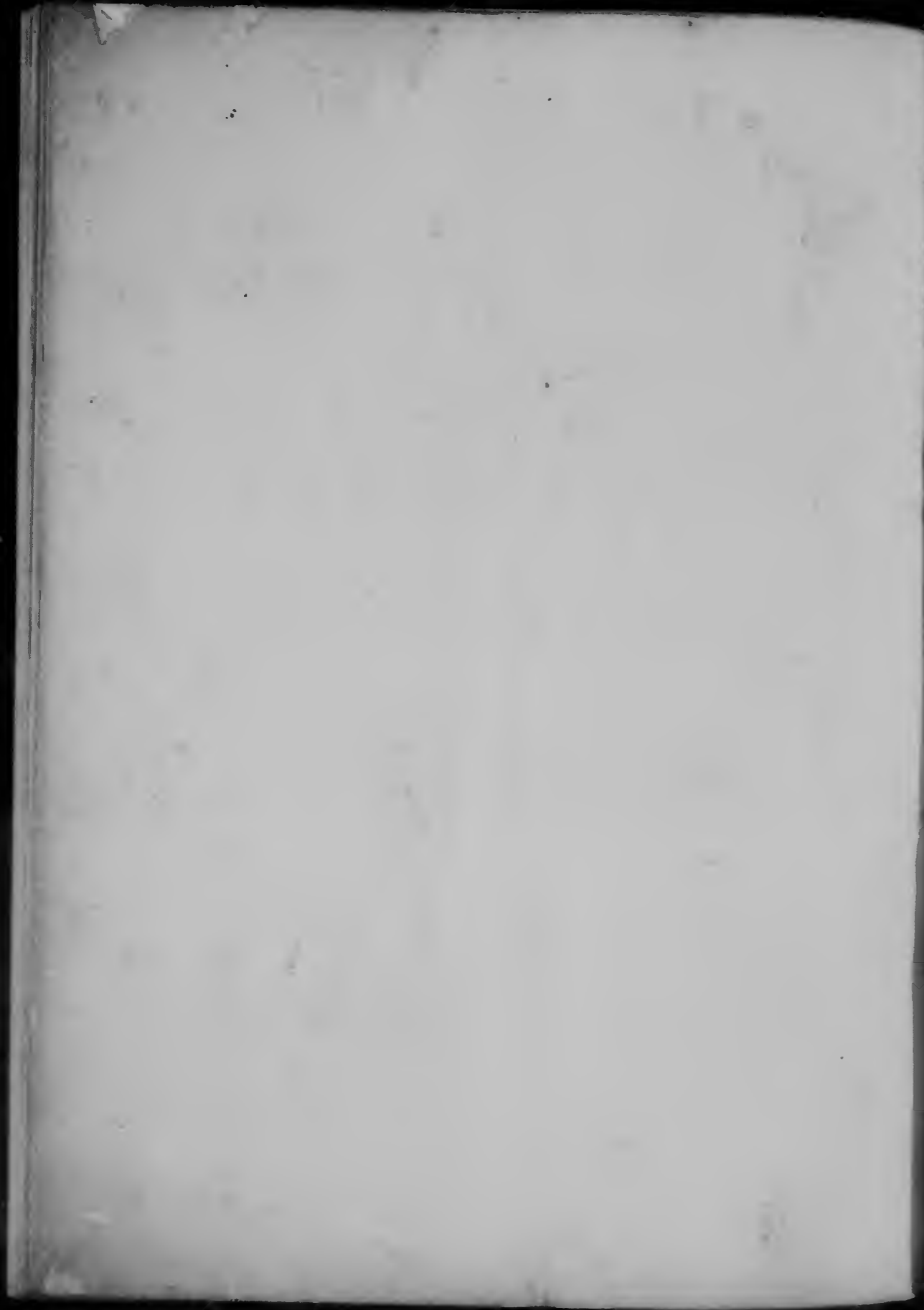
享和二年

百廿六回

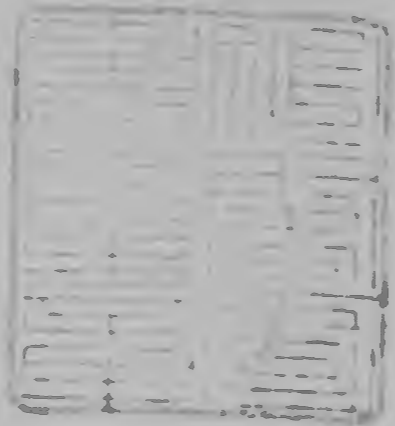
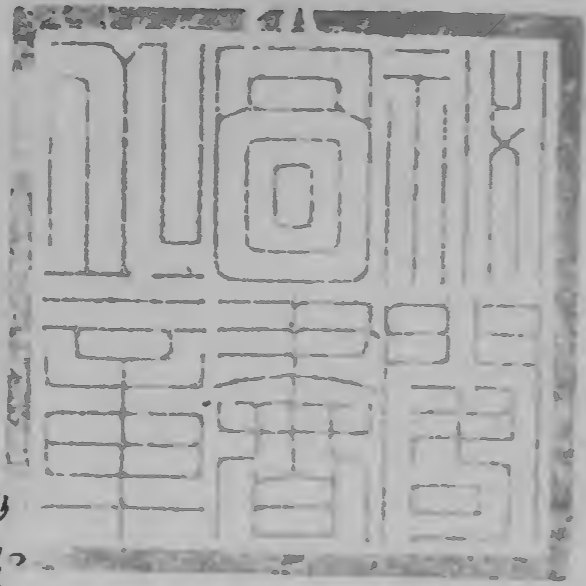
共卅

西曆文庫
編號 30785
冊數 126
全冊 110 130

一六〇	某	三〇	和
六	四	〇	時
十三	五	八	
	六	八	
	五	八	
	六	八	



17902



心勝

七月



古井 大徳
 志 元 出 二 三
 植村 後 河
 阿 部 掃 磨
 物 本 根 大 内 記
 小 田 切 七 作
 中 川 元 三

公書

石川伯氏

松平伊織

上屋

七月朔日

御座

御座

御書院

永井大和守

御書院

中多

御書院

中多

小室

中多

石

御座

御座

一今

御座

御書院

御書院

御書院

御書院

門

門
口
口
口

門

門
口
口
口

門

門
口
口
口

門
口
口
口

門

門

門
三

門
口
口
口

門
口
口
口

門

之宅内後方

保科能中書

京橋本町

松平遠江守

間部若狭守

藤井隆信守

松平備中守

堀大和守

小笠原信清守

中堂内藏助

茶倉石京

隠居

茶倉丹後守

茶倉主膳

病後

堀内藏助

一木一草

白多一草
紫烟一草

根子代

松子代
根子代

波拉二
叶二

全指二
叶二

根子代

扇子

渡田守藏
渡田守藏

威徳院

立木割
立木割

徳右衛門
徳右衛門

作竹河内

自分
自分

同
人

波拉二

大坂
大坂

大坂
大坂

松平丹後守

17

永井
松平丹後守

大坂
大坂

水順

水順
水順

成瀬
成瀬

系

成瀬
成瀬

成瀬
成瀬

水順

系

水順
水順

松村
松村

出納戸簿

大坂市三木町

永井 丹後守
松平 丹後守

大出番

同世ノ礼

出納帳目

各目

右早の目録に記す如し

入御

一 南白書院に尾進殿へ使合の書付を以て
賜大炊頭

一 之定備後守御料能申上り
於南白書院に御款元申列上願致し

一 増山備中守御料能申上り
於南白書院に御款元申列上願致し

一 松平左衛門守御料能申上り
於南白書院に御款元申列上願致し
於南白書院に御款元申列上願致し

一 河津右衛門守御料能申上り
於南白書院に御款元申列上願致し
於南白書院に御款元申列上願致し

一 松平丹波より信條物同席列在回前頂戴直
 為廻大由書より海條物丹波より大由書書後
 一 成瀬園情の海條物同席列在回前頂戴
 一 大由書總目録條物同席列在回前頂戴

公方振
大由書
御座指

解額一部

西使并伊勢の情
大由書
日 松平能也
御座指
日 大由書

徳川同席

右の由麻衣の由酒湯の由深の由也
 一 宋女正高乳使の由也
 一 京極中より座條 御座指
 一 宋女正高乳使の由也

七月二日

寺社
阿部播磨
石川

右之由八月廿五日

心觀院極二十之圖也此法事也用之

作付之品等其間先中列之品大如以上後

西尾限

右之由與此等中勸告之 作付之品同席

列之品同席中人後之

此際約

合或

水と大と

名は相之系介大前

右之由先等身類之在也昔

御覽之由先等身類之在也昔 此際約勸告の由先等身類

以下之由先等身類之在也昔 此際約勸告の由先等身類

渡之由先等身類之在也昔

此際約

本屋字之房

此際約

小清玄冲

右之由先等身類之在也昔 此際約勸告の由先等身類

中後之

大正二

卷一

考合

岩吉子

長谷川乙之

名代松平

清水勤

庄

武友

長谷川

名代

岡平

後中野

小多子

名代

松平

名代

藤川

名代

山崎

岡田

名代

八木

戸田

名代

河部

源

政如所前

三井 孝高

豊後守 伊藤 忠良

伊予守 伊藤 忠康

右衛門 伊藤 忠直

名代 伊藤 忠直

豊後守 伊藤 忠直

三浦 忠直

成瀬 忠直

豊後守 伊藤 忠直

武吉守 伊藤 忠直

竹中 忠直

名代 伊藤 忠直

石川 忠直
豊後守 伊藤 忠直
豊後守 伊藤 忠直

齋藤 河

豊後守 伊藤 忠直

伊予守 伊藤 忠直

豊後守 伊藤 忠直

豊後守 伊藤 忠直

伊予守 伊藤 忠直

石川 忠直

豊後守 伊藤 忠直

伊予守 伊藤 忠直

豊後守 伊藤 忠直

右田守而人言作甘

如及每之助
系一常回其先

右田守而人

林平吉

口言其之智

松平傳次郎

田守

右田守之全同人八渡之侍所同者

七田守

中書院書式

中多人大助

中書院書式

室如多之助

右田守由八渡之侍所
中書院書式
中書院書式

一
例年人自目其由八渡之侍所
中書院書式
中書院書式

七月廿日

伊達様を以て候儀

一通一為

大和国筑後

石上郡別所名所忠法以礼方より候格に廣國大炊頭

但中一城を請

中後書

倉橋より可成印

右の由秋後所為由月分より甲府にせり候を

以事より用と云候由右の事候に御意若年より中

此度迄の事候に御意候に

一 奥法以候事候に於奥法御意由難子より

但九月以始

七月廿日

〇

紀伊中絶之殿

〇

水戸中絶之殿

〇

尾法中絶之殿

至之入し書法以秋法
柳之間説大物以

以城防金心言乃子之於

全三三枚
利録武自判

松平如丸也。

全三三枚

松平豊後也。

口

松平越之也。

忌
松平出明也。

信三枚

松平振澤也。

口

松平京吉也。

全三三枚

松平一和也。

口

松平廣成也。

口

松平安氣也。

信三三枚

松平掃原也。

全三三枚

松平相換也。

信三三枚

松平大守也。

全三三枚

松平江子也。

信三三枚

松平尾藤也。

口三三枚

松平心平也。

〇

松平越後守

〇三及

松平淡路守

全三及

松平栄治守

右内り為山守松平越後守等上ノ御用度同人

一控一及

紀伊中納言殿

〇

水戸中納言殿

〇

尾張中納言殿

右内り為山守松平

御奉行

松平越後守等上ノ御用度同人

御用度

一控一及

松平如左衛門

一控一及

松平普之助

〇

松平越後守

〇

松平以子代

松平越後守

松平栄治守

右内り為山守

御意極上使名爲上之御指之御意也

全三三

友吉と和泉吉

口

松平上総介

右内侍爲上之御指之御意也

若由來大忌之御意也

柳家義太夫御使

二三

伊奈間在

右内侍御意也

之御意

但由來大忌之御意

徳川右衛門尉

二三

依竹河内

右内侍御意也

之御意

奥殿御使

二三

吉田盛方院

右内侍御意也

若由來大忌之御意也

一 延享七年七月 水札

七月廿日

一 公卿百官等御向書院

出御紀伊殿水戸殿水戸中將殿 御對顔

御信松年裁之旨 御同具相所之席間

渡御之例年裁之旨 諸口也等之旨

入御

一 尚書省沙汰後尾道殿より後名之旨出之旨

遊園園遊之旨

一 有内より御用之旨出之旨 中城階以等前座也

有下通同人

世傳
全子代

系統能也

石系勤 水札 尚書省 以使者之旨出之旨 御對顔
諸口也等之旨

七月八日

一分細之路

清明院極 御冥途

御冥途 松平伊豆守

御冥途

御冥途

寺合

久貝忠房

小宮

宮

御持

安

御冥途

素山猪

石於 御前

若列小漢

宮 下 寺

新

龍徳寺

石須藏 仰付

列座大炊

西九

御冥途

永井

永田

石之 仰甘立此取右多新左位類在守中對馬列在
同人中後之者年号中而九云傳在

右(此)外者類在守中對馬列在
勤門之百係之(此)由之(此)年
小言能(此)後

石之 治守之(此)同席同人中後之

中川由著
忠者同(此)助
島合
青木維(此)助

石之 仰甘立此取右多新左位類在守中對馬列在
年号中而九云傳在

由被(此)言
分井源(此)著
荒川合(此)著
中清(此)著
清田(此)著

由被(此)言

福田(此)著
村田(此)著

人(此)著
平門(此)著

日(此)著

由被(此)言

右之端上字

御其之柳河外諸之公也メリ此丸定亦物住泊
ともお勤格別点利の多下台、お焼火く間
塔内新清の口候

七月九日

右之端上字

右之端上字
御其之柳河外諸之公也メリ此丸定亦物住泊
ともお勤格別点利の多下台、お焼火く間
塔内新清の口候

小字

口内新清の口候

上田平右衛門

中

中山一助

中山一助

口

中山一助

中山一助

中山一助

中山一助
中山一助

聖書院書

聖紀之書

朝皇朝之書

大因書

維新以來

一日之書

西元中

本朝

杉浦安太郎

石松真之 作

七月十日

聖書院

聖紀之書

聖書院書
聖紀之書

右記 御書
大御所御書

諸拾遺

聖書院
聖紀之書

漢山平之書

新井市川

右記 聖書院

御書
於御書院

一月... 博覧... 林... 勤...

但伊... 伊... 伊...

七月十日

大塚

中洲

後... 院... 後...

瀨... 勒... 寺

右... 職... 伊... 伊... 伊... 伊...

伊達... 伊...

大和... 筑... 後

大塚二

右... 伊... 伊... 伊... 伊... 伊...

伊... 伊...

伊... 伊...

伊... 伊... 伊...

右... 伊... 伊... 伊... 伊... 伊...

奥火子書

奥火子書
勤王の事

青心集

右 諸君の御火子書に同人之事あり

一 諸君の御火子書に連川の事あり

連川の事あり

連川の事あり

連川の事あり

七月十一日

一 今朝増上寺

増信院様 御書

御書代戸田守女心

大由書

保科能

京路

右 諸君の御火子書に同人之事あり

御書

御書に御火子書に同人之事あり
御書に御火子書に同人之事あり

此胎を以

右中書院御在宗

永田松次郎法

勤の門等々を由是より其の法に

村垣氏公所

右

此竹分龍右右其法有法類列在因宗人

尸護之君多号中領所

御法

此勤定法

此勤定法

右中書院御在宗

水師友九所

無くは此法に下

右

此竹分龍右右其法有法類列在因宗人尸護之

此字没

此勤定法

ノ保十之吏

右

此竹分龍右右其法有法類列在因宗人尸護之

伊豆守ノ尸護之君多号中領所

七月十一日

大書院

市橋下條

右中書院御在宗

此跋三

此の巻目

約尔根大日記

小巻目

目二

有田掃屋

右之西凡大奥長局新紙由之巻目用お勤ひ之旨
以下各巻目是名紙巻中列名大御政中流儀之若
年号中列名

全巻目

此の巻目

桂山之御書

小巻目

右目録

名代通度之巻目

此の巻目

少保守忠之巻目

右目録之巻目是名紙巻中列名大御政中流儀之若
年号中列名

此の巻目

素山之巻目

小巻目

名代通度之巻目

少保守忠之巻目

目二

右目録之巻目是名紙巻中列名大御政中流儀之若
年号中列名

立石のしるしをみるに

小笠原氏の子孫

一 西 新 古 席

御倉根田宮の御印

一 三 井 矢 廟

西丸の御倉根田宮

一 新 古 布 麻 丸 寺

小笠原氏の御印

一 小 南 久 米 古 寺

一 吉 川 庄 古 寺

大工棟梁

大工棟梁

口め枝

中村

中村 派 寺 夫

一 子 川 助 古 寺

口め枝

右のりゝをふくまへて境火間塔田新澤寺に

中村

田邊 寺 夫

口め枝

右のりゝをふくまへて境火間塔田新澤寺に

口め枝

一 明 寺 田 新 澤 寺 夫

御倉根田宮

御倉根田宮

沙信按文時系云々

作有し

七月十日

一分お守り初大廣國後沙信云々

御靈名 御系譜お守り云々 遠清

一分朝上節

至心院様 御系譜云々

御系譜お守り云々

一 遠清以後お守り云々 御系譜お守り云々

一 右内記の御系譜云々

御系譜お守り云々

一 右内記の御系譜云々

城お守り云々

一 明中お守り云々

七月十日

一 高田より沙汰候御方申付候事申付候事
此後高田より沙汰候御方申付候事

一 石田より進川公左衛門 取次御方申付候事
高田より進川公左衛門

一 石田より分司の御方申付候事
高田より分司の御方申付候事

申付候事

時辰二十

日光御門迄

石田より分司の御方申付候事

高田より分司の御方申付候事

上候御方申付候事

時辰二十

増上寺方人

石田より分司の御方申付候事
院御方申付候事

七月十七日

南都大徳寺

大徳寺に
御書院公行法会御柳園
大徳寺御書院公行法会御柳園

他
大徳寺御書院公行法会御柳園

一 佛之御書院公行法会御柳園

但今期一回也 御書院公行法会御柳園
御書院公行法会御柳園

七月十七日

一 公朝紅葉山 御書院

御書院公行法会御柳園

一 南都大徳寺御書院公行法会御柳園
御書院

一 御書院公行法会御柳園
御書院

一 傳之... 城

一 塔... 城

一 日... 中

...

七月十八日

一 ...

...

...

...

...

...

...

...

...

實子慈願

同 孫助

同

與津日記

一 名刺記系記

實子慈願

同 惠公席

小三郎

酒井恒島

一 實子慈願

名刺記系記

實子慈願

同 淨次席

惠公

一 實子慈願

實子慈願

同 敦貞

小三郎

名刺記系記

一 實子慈願

名刺記系記

實子慈願

同 實子慈願

名刺記系記

同 實子慈願

實子慈願

同 實子慈願

實子慈願

同 實子慈願

同 實子慈願

中川 守家
「中川 守家」
「守家 松下 守家」
守家 守家

同 五十一

口 酒井 但馬守 守家

「酒井 但馬守 守家」
守家 守家

守家 守家

同 又次郎

口 若坂 九郎 守家

「若坂 九郎 守家」
守家 守家

守家 守家

同 守家

口 小笠原 守家 守家

「小笠原 守家 守家」
守家 守家

守家 守家

同 他 守家

口 酒井 但馬守 守家

「酒井 但馬守 守家」
守家 守家

守家 守家

同 守家 守家

口 小笠原 守家 守家

「小笠原 守家 守家」
守家 守家

守家 守家

同 守家 守家

川 五ノ坂九ノ坂

大ノ保呂三ノ坂

名代 戸川 凡云

字子無似

同 久保ノ坂

名代 尾花 全ノ坂

川 五ノ坂九ノ坂

田村 小ノ坂

名代 入右衛門 全ノ坂

字子無似

同 庄ノ坂

五ノ坂九ノ坂

能登 新ノ坂

名代 新ノ坂 凡云

字子無似

同 中ノ坂

川 五ノ坂九ノ坂

寺田 中ノ坂

名代 寺田 中ノ坂

字子無似

同 地ノ坂

川 五ノ坂九ノ坂

曲ノ坂 久ノ坂

名代 曲ノ坂 久ノ坂

字子無似

同 美ノ坂

名代 美ノ坂

川 五ノ坂九ノ坂

川 五ノ坂九ノ坂

名代 川 五ノ坂九ノ坂

字子無似

同 定ノ坂

名、小行、千九所

口 小行

明、千九所

中、行、新、行

名、小、行、千九所

名、小、行、千九所

同、行、千九所

名、小、行、千九所

口 小行

名、小、行、千九所

同、行、千九所

名、小、行、千九所

名、小、行、千九所

同、行、千九所

口 小行

名、小、行、千九所

同、行、千九所

名、小、行、千九所

同、行、千九所

口 小行

名、小、行、千九所

同、行、千九所

名、小、行、千九所

同、行、千九所

名、小、行、千九所

同、行、千九所

口 小行

名、小、行、千九所

同、行、千九所

名、小、行、千九所

同、行、千九所

名、小、行、千九所

口 小行

「教京通玄」
 名付、松井も書
 字、里のり
 「同」 去、乙
 小童、信徳
 久見、忠、な、つ、と、記
 「飯沼、文、次、郎」
 名付、中、川、小、六、郎
 字、子、忠、成
 「同」 平、次、郎
 右親、通、隠、居、名、 竹、守、善、之、相、違、之、下、重、名、付、
 兼、河、光、中、別、元、大、炊、以、中、流、之、若、年、書、中、
 侍、所

大、河、西、江、由、彦、名、之、侍、所、
 竹、守、之、

西、江、也、彦、名、之、侍、所、
 「同」 一、出、之、流、
 名、付、清、田、金、丸
 字、子、忠、成
 「同」 平、次、郎
 小、童、信、徳
 河、井、但、道、之、但
 名、付、中、川、也、流、
 名、付、川、之、文、之、也
 字、子、忠、成
 「同」 松、次、郎
 名、付、中、川、也、流、
 名、付、中、川、也、流、
 字、子、忠、成
 「同」 清、次、郎

西九郎左衛門守中
勘内年ふらむ之るは是く致給

右の如く
村松勘之丞
名代勘助云云
同 云 右

右の如く
西九郎左衛門守中
勘内年ふらむ之るは是く致給

西九郎左衛門守中
勘内年ふらむ之るは是く致給
矢部小膳

右の如く
勘内年ふらむ之るは是く致給
出云云

一 堀田河津村人白七也 城云々

七月十九日

七
松平少将
氏家又右衛門

有暇年秋松平河津村人白七也
河津村人白七也

金三之助
松平少将

本支之流以種姓公家後今日以役者爲上
即同席而種姓和氣也
但伺し上席

一對馬より使分今日也 故云

一 堀田所請人今日也 故云

公方極力
松平信子代

御方信子代
御方信子代
御方信子代
御方信子代
御方信子代

出候

松平信子代

民於以爲
二 松平也
大御前
二 松平也

大御前

御方代
御方代
御方代
御方代
御方代
御方代
御方代
御方代

口

戸田信子代

御方代
御方代
御方代

二條の之
民部卿
清三子
二條の之
大納言
二條の之

山崎宗大

石橋子代御事

七月廿日

御座
夏夜

西尾中
幸山松

西尾中
小林源

西尾中
小林源

西尾中
小林源

右
御事

松平

石橋子代御事
御事
御事

時辰記

庚子

新井 忠久

大正 久

山田 常

右 山田 常 山田 常 山田 常 山田 常

一 今 山田 常 山田 常 山田 常 山田 常

山田 常

一 對 山田 常 山田 常 山田 常

一 山田 常 山田 常 山田 常

七月廿一日

松平 肥後

松平 俊成

右 山田 常 山田 常 山田 常 山田 常

一 山田 常 山田 常 山田 常 山田 常

先 山田 常 山田 常 山田 常 山田 常

山田 常

一 對 山田 常 山田 常 山田 常

一増田折治の八ノ日也之

小田中

伊中納之殿

此書之

伊中納之殿

口 二并但馬

水戸中納之殿

口 同日人

口

水戸中納之殿

右之在今朝之書之為出礼也

中書院正印教道允中

但水戸教中中納之殿

中書院正印

但水戸教中

小田中

中書院正印

但水戸教中

但水戸教中

再録

山崎

紀前山崎

山崎

根元丸山崎

山崎

山崎

山崎八山崎

山崎

山崎山崎

山崎山崎

山崎

山崎

山崎山崎

山崎山崎

山崎山崎
山崎山崎
山崎山崎

山崎

山崎

山崎山崎
山崎山崎
山崎山崎

山崎

山崎

山崎山崎
山崎山崎

父字人字子字

成瀨多蔵

信長

叔父

長子

長子

長子

長子

長子

大由

長子

同

長子

長子

長子

長子

父

石

田

但

大由

伊達

長子

長子

小

右、元、表、分、類、を、由、告

御、火、且、多、事、あり、少、く、相、動、り、皆、由、由、保、守、に、下、り、右、中、列、に、大、妙、に、下、り、

也、代、官

堀、公、文、公、卿

作、友、友、公、卿

若、作、以、流

松、下、内、子

比、田、風、助、氏、

大、原、大、藏

一、也、代、官、中、列、

可、讀、式、元

右、元、表、分、類、を、由、告、御、火、且、多、事、あり、少、く、相、動、り、皆、由、由、保、守、に、下、り、右、中、列、に、大、妙、に、下、り、

尾、田、景、徳、氏

流、川、元、次、郎

右、元、表、分、類、を、由、告、御、火、且、多、事、あり、少、く、相、動、り、皆、由、由、保、守、に、下、り、右、中、列、に、大、妙、に、下、り、

御、火、且、多、事、あり、少、く、相、動、り、皆、由、由、保、守、に、下、り、右、中、列、に、大、妙、に、下、り、

西、宮、一、子、守、氏、

連、川、元、次、郎

右、元、表、分、類、を、由、告、御、火、且、多、事、あり、少、く、相、動、り、皆、由、由、保、守、に、下、り、右、中、列、に、大、妙、に、下、り、

流、川、元、次、郎

西、宮、一、子、守、氏、

皇朝三百年

西宮中

石女中

一對馬を、高麗使に今日見せし

一塔に接し、清も今日見せし

七月廿一日

西宮中

尾池中

西宮中

右の御入朝

尾池中

成瀬

右の御入朝

上夜中

皇朝三百年

西宮中

室賀

西宮中

西宮中

神保右近

石之 此物乃其類之冠也。唐平其國中出。成
之。此物也。云々。

唐平其國中出。

表ノ一

言者留之所

石之 此物乃其類之冠也。唐平其國中出。成

上

中

石

中

石

中

中

石

中

石

中

石

中

石

中

石

中

石

中

中

中

中

中

中

山口県川中島郡

隠居 松平一介

常平高屋

松平安藤

日根野儀

松平大膳

水原系政

松平操

中多能

松平相模

徳川源

松平大守

〇

〇

〇

〇

〇

〇

大分県

松平肥後

石川県

松平越中

越前守

松平漢

〇

〇

〇

右之左 松平一介

松平一介 松平一介

松平一介 松平一介

松平一介 松平一介

松平大將公... 城守... 紀後...
松平親中... 松平清政... 城守... 紀後...
水鏡... 紀後...

他松平宗為松平及京定松平吉岡及世傳也
城守

紀後...

貞章院政

日

宗蓮院政

本年中... 松平...

一 堀田... 紀後...

紀後...

世宗川親母

右松平... 紀後...
松平... 紀後...
松平伊織

一 今... 紀後... 成

七月廿四日

一 今朝上節

孝恭院様 御書下
御奉行 京治備中

松平周防守
石川松平石宗之

右ノ書札 御書下

御書下 御奉行 京治備中

昔々之儀ノ振動方 御書下 御奉行 京治備中

一 塔田坊 御書下 御奉行

七月廿一日

日之出 御書下

凌雲院 御書下

先達 御書下 御奉行 京治備中

御書下 御奉行 京治備中

御書下 御奉行 京治備中

御書下 御奉行 京治備中

御書下 御奉行 京治備中

右は横江より河内大物次

一 先達を安永の院に遣はさる由云々、此後中

御願、此後此の御を以て此の御人、右後

御考御、等上、此の御席、御出、御出、御出、御出

大由云々

此年丹後也

右を、此後、此の御、此の御、此の御、此の御

大御、御願、御願

此後、此の御、此の御、此の御

此年伊豆也

戸田守女正

数寄、御出、御出

上井大物次

安友、御出、御出

右は奥、御願、御願

一 此の御、御出、御出、御出、御出

十一日

日支通商使館

中 貴 院

右、貴院君秋由御返之。仰給由御返之。如く、貴院由御返之。

但右使由御返之。仰給由御返之。持系は、貴院中、誠、貴院由御返之。

一 右、貴院由御返之。

御返之。仰給由御返之。仰給由御返之。

於因席、御返之。仰給由御返之。

今、御返之。

中、御返之。

右、京、御返之。仰給由御返之。

右、京、御返之。仰給由御返之。

中、御返之。

敬、御返之。

一 明安八日月... 出... 其... 由... 元...

七月廿一日

一 今... 院...

出...

系...

中...

綿... 代...

系...

石...

小...

此...

内...

酒...

領...

新...

龍...

一...

口

...

...

...

...

紙第一第

園多去支

法勝心

大徳目録代出帳

由後書

小菅清持(家)

由書後書

法勝心(家)

一久源清(家)

合右取宛

由次一同

初法勝心

源清(家)

紙第二第

一久源清(家)

由次一同

由書後書

由後書

法勝心(家)

紙第三第

源清(家)

由書後書

由後書

由書後書

法勝心(家)

紙第四第

由書後書

一尚日為清人後，後尾重家，一使多著其旨，一於
公府下，謂大統以

一酒井大老，其後統御，由書院，其後由中，此席
頂裁，一早之宗，一其後連，一其後統御，一其後

一其後連，一其後統御，一其後統御，一其後統御，一其後統御
早之宗，一其後連，一其後統御，一其後統御，一其後統御

一其後統御，一其後統御，一其後統御，一其後統御，一其後統御
其後統御，一其後統御，一其後統御，一其後統御，一其後統御

公府下
大統以

西中統御

全光寺

石上統御，一其後統御，一其後統御，一其後統御，一其後統御
其後統御，一其後統御，一其後統御，一其後統御，一其後統御

他
大統以
其後統御

七月廿九日

口領与改
各田係之新法

大田若市橋中後

松平市之町

右

作付之龍右等部全河越之申列所

大田若市橋中後

西九田陳為方

「松平市之町」

中

漢井無之助

大田若市

市橋中後

新田若市

大田若市橋中後

小田若市橋中後

大田若市橋中後

大田若市橋中後

大田若市橋中後

大田若市橋中後

大田若市橋中後

大田若市橋中後

大田若市橋中後

口

大田若市橋中後

大田若市橋中後

大田若市橋中後

大田若市橋中後

大田若市橋中後

口

大田若市橋中後

大田若市橋中後

大田若市橋中後

口

大田若市橋中後

大田若市橋中後

大田若市橋中後

口

大田若市橋中後

大田若市橋中後

右 仰答旨申之副列在回前同人中候之
若年号中候度

小室信直

國許他島公記

昭勝物方

新井勘兵衛

右 仰答旨申之副列在回前同人中候
侍在回前

七月晦日

京都御院集議席

謙 順

中右大臣
系祐守

右 仰答旨申之副列在回前同人中候
列在回前

一 明御日山例年法礼



八月御用書

戸田宗女正

系持御中

松平能成

松平右京兆

松浦越前守

根岸肥後守

山崎宗信

也勝、子

宗一

松平左衛門

永井親貞

地石次郎

八月朔日

一 今口時部白書院

出部紀伊中納言殿水戸中納言殿水戸中納言殿

出部國領之儀沙礼等上之尾池中將殿

名代藏瀬之儀沙礼等上之尾池之儀上之

乞中披寫略之次之通信松平親貞等之儀上之

出部持系沙礼等上之尾池之儀上之

出部之儀沙礼白書院西條殿等先中將馬

出部之儀沙礼等上之尾池之儀上之

出部之儀沙礼等上之尾池之儀上之

出部之儀沙礼等上之尾池之儀上之

出部之儀沙礼等上之尾池之儀上之

其外何之儀上之尾池之儀上之

入清之... 廣平府... 卷之六

... 廣平府... 卷之六

... 廣平府... 卷之六

... 廣平府... 卷之六

入清

一 入清以後之國土... 卷之六

... 廣平府... 卷之六

... 卷之六

一 入清之概... 卷之六

... 廣平府... 卷之六

... 卷之六

一 尚書... 卷之六

... 廣平府... 卷之六

一 尚書... 卷之六

... 廣平府... 卷之六

... 廣平府... 卷之六

一 水戸殿より初籠一尺、
由城降参、是より
右形虎重廊下福来女心

八月二日

酒守時宗多候心

二 籠一筋

鶴田音江心

右 右左一初刻名付力由心是より、
右後、別福来女心
但心、誠かけ福

西作中下意心

星形那波心

星形那波心

右 作付名、右遊漏洞同人下候心

八月二日

新心

龍徳寺

時隆心

右 右形分下台、右初、別福来女心下候心

菊

栗丸由留書名

内膳正室子孫

大保方左衛門

清和申務の補佐

基之守り書名

松平之次郎

志保清治の補佐

右衛門正室子孫

小笠原清隆之助

日根丸藤原信房

源次郎書名

津田中藏

藤田丹波

建永内膳

中勘定

伊方龍公

右多吉書名

清和正室子孫

三井友平

中勘定

右衛門正室子孫

大保方書名

平山保三郎

右衛門正室子孫

右家徳之親遠之少下二重名夫中列位同人
中勘定若年号中侍在

漱濁間

酒井但馬守

江戶府

川邊中人之所
養一林解

彦坂九条

氏年古實子

海濱七次郎

右國公之同入

西九中

古作

中水

大少保日向

右國公之同入

一 今中府家
成

一 伊豆守

八月廿日

中水

江戶府

右八朝 此後 後今日 後者 乃上之
可松 河内 水也 出 相也。

一 伊吉 之 使 人 白 也 城

八月廿

奥田右衛門

西九曲 岸 必 有 者 改

勤 勞 之 人 亦 宜 之 出 行 科 下

田中台藏

右 八 朝 此 後 後 今日 後者 乃上之
家女 心 已 疲 之 若 年 長 中 而 九 在 也 乃 所

西九曲 岸 必 有 者 改

戶田徳也

口

本下 之 計 以

右八朝 此後 後今日 後者 乃上之
松河内 水也 出 相也。

八月廿

号物二

松平右近守

園多吉

右近守 松平右近守 河津女心 子書 想 松平右近守 作 傳 物

西条小徳

中水

子村隠

西条小徳

中水

熊倉 有田七

右近守 松平 作 傳 物

八月七日

時辰二

柳永新

右近守 松平 河津女心 中 列 松平女心 作 傳 物

中水

松平宮内少輔

口

一柳七

右近守 松平 河津女心 中 列 松平女心 作 傳 物

浪子致

志良熱行

徳田吉房

右取分下名、右様法測松平右京元中候

八月八日

一公朝上御

後明院極 御共之物

御名代七井大御殿

小宮元徳

海江相模守之記

牧野助之助

浪子

右に 御旨名、右様法測元中列於京女心中候、
若年長中御在

八月九日

浪子

松平越中

石高家印以攝城也 城 御園

幸社直り加役
松平周防守法

水出明也

石於 御前也 仰付

松平肥後守

松平廣河守

石高同御前攝城也 城印也 松平周防守法御前

松平勘定法

松平井平也

松平也

右に載後、松平河村、初は接城、此の由、周防守、松平也、
松平也、松平河村、伊豆守、松平也、松平也、松平也、
侍所

一、今九月廿日、松平河村、伊豆守、松平也、松平也、
松平也

八月十日

水師出陣

龍之口屋浦由用、分島出陣の最上は
御宿揚由、同様に平能山を屋敷に
御出陣

右記は松平定直中別度定女に片後

忠代官

片後二

竹月三

右記は松平定直中別度定女に片後

紅葉山六書

紅葉山六書
竹月勤内お人持下

上巻三書

小池上書

右記は松平定直中別度定女に片後

松平能山

流石水や出陣屋敷御出陣
是迄、屋敷御出陣の最上は

右記は松平定直

一月並海軍より林太左衛門

但し、松平定直の御出陣

八月十日

一尾浪中將殿 至川口川口法廣為由也
城之於大奥 海對面也

松浦公之丞
典昭輝

松浦公之丞
名代地代也

石之松浦公之丞 願之由也 今之言則松浦公之丞也

石之松浦公之丞 願之由也 今之言則松浦公之丞也
列之於女心也

松浦公之丞

松浦公之丞
小之丞也

石之松浦公之丞 願之由也 今之言則松浦公之丞也
中傳也

一御書極之十書能之入事也
松浦公之丞
名代地代也

八月十二日

一 八幡宮上寺

増信院極 御供之類

御供代敷仕備之類

尾花重信

成瀬重信

右 尾花重信

城 御供代敷仕備

應之御供代敷仕備之類

一 右 尾花重信 御供代敷仕備之類

尾花重信 御供代敷仕備之類

一 右 尾花重信 御供代敷仕備之類

御供代敷仕備之類

尾花重信 御供代敷仕備之類

尾花重信

尾花重信

尾花重信

右 尾花重信 御供代敷仕備之類

尾花重信

八月十二日

綿子日記
全三十一代

中多中務補

石之系動、此札南乳、此後云、是、
記、松平右近將監

一、今、八時、由、法、瑞、上、西、在、
成

八月十日

一、明、十、六、日、釋、奠、身、堂、
今日

御、名、付、是、部、因、情、
御、名、付、一、腰、黄、令、
投、出、傳

御、名、付

本、井、人、物、願

寺、社、
寺、社、
寺、社、

町、部、掃、磨、
町、部、掃、磨、
町、部、掃、磨、

此、勘、定、
此、勘、定、
此、勘、定、

石、川、右、近、將、監

石、川、上、地

心親院極二十三日書之由法華中胡語分
御目見

真由石尊人留

弘治六年八月

真由石尊人
勤の同筆なる由に云ふ事あり

右於真之 御付

一 明子右月並し起程共外也此れより

一 明子右月並し時中法法揃ら

一 納之極西指福より法為入多々 此れより

八月十五日

一 今更書す御白書院

生御

系勤

松平丹波

此れより
今更書す

第 首

口

口

口

口

口

口

口

建永年

大保山城

板倉伊豫守

河野清隆

口

松平中務

戸田大隅守

山口周防守

福永掃部

井上内膳

口

口

口

堀田大藏

口

久世大和守

多尾丹波守

黒田豊之丞

大谷玄昭

松平弾正忠

口

口

赤松右京

赤松左京

銀子代

書物二

口三

三束二巻

水鏡出羽也

水鏡出羽也

姉婚制也

板倉之水依

義路之膳

婚制也

中多隠波也

位藏也

大塚

護持院

口

正室

一束一巻

圓福寺

沙勝也

後有也

也

倉橋之南

分部
時辰二

右平口打

入

一尚自為也後依尾池叙之使名也

大藤下流家女也

一 倉橋之河の節に流石物に其母公河分中列成
願氣し若年已方申借成

一 半平付借成し向く家門あり渡成し

草子

有馬借成し

口

井上内膳心

右半平付系勤し此礼高札に後成り止し
お信し間借松平右通好成

一 八ふみ半付中借成し

大須之柳の江為 入系八朝お付る由成り川台

江 仰成し

一 大奥女中内付間由忠成り、清田男御成り

御石時し助成りの守成り

思成りし身成りし相違し及成り新書成り

大目守安成り大目守成り成り成り成り成り

成り成り成り成り

成り成り成り成り成り成り成り成り成り成り

八月十六日

石川子膳
名水武藏守備

右之亡父之命以願重山必速願之願速之節重旨
於波之河老申列及海女中渡之

百人組之
此持信内以
西尾云
火清以

此中入心
西尾云
此換地方

細之流地身分
細之流地身分
細之流地身分
細之流地身分
細之流地身分

右之流地身分
細之流地身分
細之流地身分
細之流地身分
細之流地身分
但一級分音人宛云

一 右 上 部

心観院極楽山御堂

八月七日

一 八 朔 紅 葉 山 御 堂

御堂行 牧野 備前守

日 天 正 十 一 年 後 傳

心 観 院

右 例 月 出 祈 禱 札 受 取 上 之 御 堂 心 観 院 御 堂 正

申 儀

立 花 出 承 取

右

心 観 院 極 楽 山 御 堂 心 観 院 御 堂 申 正 日 先

申 儀 并 御 堂 御 堂 御 堂 御 堂 御 堂 御 堂

上 之 御 堂 御 堂 御 堂

此後之第一組

此後之第一組

日之門跡

石門の申目付

一 右門の申目付
申目付の申目付
申目付の申目付

一 右門の申目付
申目付の申目付
申目付の申目付

八月十日

紀伊屋

長谷川頼母

申目付

人見又兵衛

尾道屋

河井忠書

右の申目付申目付

遊園地

大塚

控信正

護持院

右

仰付名付申書院御紙先申列在

同
月

斎若守

横山心玄方司

身申若守人智

右

仰付

八月十九日

入道圓身代

由信書

小倉信若

由信書

淺江守若守

一名源次所

右

仰付名付申書院御紙先申列在

但信年方連若守人智

京極殿中へ御返事

遠月御目付

由使言

春福之御文部

右を、お返事申上座同席列座同席
御来申事書示同人相成之

一 明日上座

御親院極 御来申 御座申 御来言
御座申 御来言 御来言 御来言

一 八ノ月廿七日 御座申 三九ノ日 成

八月廿七日

一 八ノ月廿七日 御座申 三九ノ日 成

御親院極 御来申 御座申

御来言 御来言 御来言

一 是日以後 御座申 御来言 御来言

使名... 於... 河... 傳...

一 右... 德川... 殿... 其... 附... 於... 示... 廊下... 福同人

一 右... 河... 大... 梅... 西... 九... 大... 其... 外... 所... 以... 忠... 告... 之... 也... 城... 於... 席... 一... 福... 青... 山... 大... 塔... 也

一 右... 河... 舟... 在... 序... 司... 宗... 宗... 坐... 之... 高... 之... 後... 名... 以... 爲... 記... 可... 後... 淡... 河... 福... 由... 員... 守... 松... 平... 伊... 織

日光... 河... 渡... 傍...

後... 福... 院

由... 子... 多... 子... 石...

右... 河... 舟... 在... 序... 司... 宗... 宗... 坐... 之... 高... 之... 後... 名... 以... 爲... 記... 可... 後... 淡... 河... 福... 由... 員... 守... 松... 平... 伊... 織

一 右... 河... 舟...

右... 河... 舟... 在... 序... 司... 宗... 宗... 坐... 之... 高... 之... 後... 名... 以... 爲... 記... 可... 後... 淡... 河... 福... 由... 員... 守... 松... 平... 伊... 織

由... 後... 去... 并... 大... 塔... 院

日... 本... 七... 取... 門... 記

由... 後... 去... 并... 大... 塔... 院

右之出法事、楓葉、竹、老也、物、
物、中、
時、辰、

日、方、也、

凌雲院、

右、

公親院、楓、出、法、會、為、法、
上、後、古、井、

大物、
竹、
白、

八月、

御、

古、井、

右、

公親院、楓、出、法、事、
御、

汗、

御、

此書之序

石川氏述行略

右田氏傳 御園見

西尾臨談

右田氏由法書中勸者相勸身 御園見

沙波磐

甲層勸書之記

百人組良

勸者相勸身之記

酒井日記

右終 御園見 御園見

一 法法事 楓海の身 向御 楓海の身 向御 水戸

中持及 後名 法法事 楓海の身 向御 水戸

一 采女 心 妙 氣 中 采 浦 楓 海 向 御 水 戸

中用 法 事 傳 示 身 向 御 水 戸

八月廿二日

此書之序

東河日記

右、八朝由孫以差令身後人、日徒之承者上、
三松、河内、山、堂、系、後、後、

一、公、向、書、時、由、信、孫、

大、酒、之、祖、西、拾、楊、り、之、為、入

一、公、向、書、時、由、信、孫、

大、酒、之、祖、御、中、九、上、吹、上、由、信、孫、為、成

八月廿一日

松平紀後

松平謙次

右、向、河、内、孫、

城、系、山、堂、書、院、酒、池、之、中

忠、信

筆、堂、之、助

柳、原、小、次、郎

上、北、向、商、之、節

時、辰、二、完

右、向、河、内、孫、由、信、孫、之、下、名、子、滋、潤、河、内、孫、女、正、了

中宮御所

四村屋敷

右八幡由後御所今以後今日以後名所より
後八幡御所并石京宛

一分七所由後御所二九上為威六上書
是也

八月廿一日

一分七期上御

孝養院御 御室

御石代 塔石御所

御所

御所

御所

西九新御所

西九新御所

御所

西九新御所

御所

御所

御所

也
大津雲八法

右於 御前

也

實傳

作

小

溝

字

并

取

小

濱

精

少

岩

本

右

左

安

酒

秋

是

丹

出

武

石上書院希物總目入公
仰付各書院
御歌元中列在書女
御歌元中列在書女
御歌元中列在書女

決十枚
時腹二

副院副使云

山中時監

右御歌元中列在書女
御歌元中列在書女
御歌元中列在書女

但書多
御歌元中列在書女

山中時監云

山田山時

海島鏡子
御歌元中列在書女

右
御歌元中列在書女
御歌元中列在書女
御歌元中列在書女

一 御歌元中列在書女
御歌元中列在書女
御歌元中列在書女

一 對馬島御歌元中列在書女
御歌元中列在書女
御歌元中列在書女

八月廿二日

時腹二

御歌元中列在書女

時腹二

御歌元中列在書女
石上書院

右
御歌元中列在書女
御歌元中列在書女

如觀院極之干之圓也此法事由用相勤以分
流下名控學益空河在中別凡京女心平廣之

長庚卷

波女校

過 新古部
田凡新古部

右向山由用相勤以分事下名 報右意為新古部
大物次平廣之右京女心中廣之

長庚卷

波女校

志中勤古部

口

仲河遠之助

口之段

石尾吉原白部

右向山由用相勤以分事下名 與之平之

但產口部廣之助平勤以分事下

長庚卷

香山下部

右八領 由用相勤以分事下名 以後名平之
心橋之河湯津女心

一 伊豆のふりもせく 城守く
一 野馬のふりもせく 城守く

八月廿二日

松平越中守

右 為家御孫様
御見

御見

御見

酒井通守

右 御中 由 江戸 渡り 申 上 御 見 申 上 列 女 正
戸 渡り 若 年 号 申 上 御 見

由 大 吉 様 御 見

若 年 号 御 見

戸 渡り 若 年 号 御 見

恒 吉 様 御 見

小 吉 様 御 見

由 大 吉 様 御 見

右 御 中 由 江戸 渡り 申 上 御 見 申 上 列 女 正

一 伊豆のふりもせく 城守く

一 野馬のふりもせく 城守く

八月廿五日

聖物二
御子代

伊東掃磨石

右系助、此礼儀以後、公方より松浦
浦有馬に譲り

一 伊豆より、高札渡今日也 城

一 野馬より、高札渡今日也 城

八月廿六日

一 高札渡より、松浦渡の家方、本中札渡、以後も
是等、松浦渡間、浦守女心

一 右側より、松浦渡、松浦渡、
高札渡間、

一 右側より、松浦渡、松浦渡、
高札渡間、

小字

松浦渡

留書
也

梶山布中郎

右に 竹分名に 藤岡間米女 中へ渡り

多記安長

多記安長

右日支由の 渡り 山へ 渡り 山へ 渡り 山へ 渡り

右日支由の 渡り 山へ 渡り 山へ 渡り

一 明在九日 渡り 山へ 渡り 山へ 渡り

作也

八月廿九日

一 公の御事 渡り 山へ 渡り 山へ 渡り

渡り 山へ 渡り 山へ 渡り 山へ 渡り

由持氏

火渡渡

由先心

此度 与 刀 同 公 渡り 山へ 渡り 山へ 渡り

此度 与 刀 同 公 渡り 山へ 渡り 山へ 渡り

の 仕 合

石狩川右岸の地金田敷高橋橋のりく

田物敷

御
大津 一冊

八月晦日

小島
海

馬乳多

船

稲

渡

中山

小

小河

大

大井

三

晴

月

新

新

是也

永見

山

山

石山山莊地物與人教養之集入人
中傳成

中

幸山

幸山九千前
願之也九千前

中

村

中
敬之

石山山莊地物與人教養之集入人
備中

中

日

常

大

心親院

二日患一城 御對視由多為 似之 似之

一 現銀日月華 出仕其分由少 似之 似之

一 采女心苦以母音病引 今白如 似之 似之

由用書代 志物改動

九月御用書

牧野儀之丞

井伊直朝

榎村渡河

服坂淡路

龜井三之丞

小田切上作

柳中三之丞

中略

公事方

石川氏

遠山氏

尾川氏

九月朔日

御座間

初御座間

備之

牧能

出札

将御座間

牧能

綿子托

一公事方

公方振

出御月

其外札

大坂

松平

以平

板

海

押屋十名
並子代

口

河原口張藏

口三張藏

口

馬場一組
御三平一組
金三二組
由馬一之

馬場一組
金三二組
金三二組

馬場一組
並子代

三本二色

一木一平

八名裁元也

柳河原賀也

口帳

中身代

久世大和也

後河原青田帳

遠山刑部小南

奇合

松平岩一助

口

南部之稅

家持之由礼

石川子膳

長代松平氏家元

口

松浦合之助

初河内也

石川也膳

長代也

護持院住僧心

長代也

品川

示海寺

時辰子

瑞香付じり

圭 家

多衣ふり

重石

象 福寺

一末一色

沙羅子しり

大坂土着御

大坂土着

菅原伊賀守

菅原伊賀守

菅原伊賀守

大坂土着

一色一末

水納戸持

大坂土着

菅原伊賀守

菅原伊賀守

大坂土着

同也ふり

多目

右半の字は... 水納戸持 一色 一末

一 高自為... 水納戸持... 一色 一末

一 遠山刑部少輔松平岩田南部右衛門正成所
 北原白書院御紙を中列に頂戴す
 一 室家海防物持國席列在田前御紙
 一 今世大御所家門不中御紙
 一 有明公御紙表 出陣花巻一國法礼儀
 該所之御紙仕立之御紙並之御紙所
 前掲大御所御紙の御紙より其之御紙
 之部を懐儀之所

松平丹波守

其の御紙の御紙中方宣百紙元一同
 該所の御紙を為真紙御紙御紙及台
 中上御紙右村の御紙御紙の御紙
 之御紙早免為之御紙御紙の御紙
 家來たも御紙中方宣百紙元一同
 御紙の御紙御紙入 御紙の

右掲白書院御紙を中列に頂戴す御紙
 之御紙御紙

一 宿之御沙一同 出清也此為 法皇御住
而くは御席の大同御内局御後連

一 宿之御沙一同 出清也此為 法皇御住
入

御入 密御沙一同
九步御沙一同

一 宿之御沙一同 出清也此為 法皇御住
城

九月二日

一 志八月

心親院御子之國出也此法皇御住也

出也心親院御子之國出也此法皇御住也

日光御門迄

右於 御座間 御對顔平之於御書院

法皇御座

一 今御書院御書院

出御傍心院御書院

御見之と申す間也禊子所一坊宿也

一同御見之坊宿也申す之也

命

義之

僧心院家

柳之

別高其外申す

松之

坊宿

右於席一之御料也

一 沙表、出御外為御料也申す之也
使者之也、申す御料也申す

一 石段、御料也申す之也
申す御料也申す

廊下御料人

一 采女正着病御料人今日也
申す

九月二日

一 宣陽之為也。後漢方石望之。而。並。為。中。外。教。業。
時。朕。武。元。使。之。使。僧。之。以。就。上。之。於。廣。國。河。流。
中。奉。之。者。尚。著。於。平。右。道。經。緯。之。身。信。之。

一 右。向。以。為。也。後。漢。

大。通。之。根。右。之。而。以。時。朕。武。元。使。之。使。僧。之。以。就。上。
於。殿。上。河。南。九。曲。著。水。也。在。道。經。緯。之。身。信。之。

紀伊中領之殿

中戶中領之殿

尾張中領之殿

右。向。以。為。也。後。漢。

公。方。極。大。通。之。根。右。之。而。以。時。朕。武。元。使。之。使。僧。之。以。就。上。
出。之。於。柳。之。河。南。九。曲。著。水。也。在。道。經。緯。之。身。信。之。

松平如賀之殿

松平豊後之殿

松平越前之殿

松平出陣也
松平新田也
松平左衛門也
松平大和也
松平漢波也
松平安氣也
松平播磨也
松平相摸也
松平大島也

松平政行
松平長房也
松平光輝也
松平越後也
松平清康也
松平宗信也
松平宗信也

右内少将也
松平宗信也

同席通同者

一 右段の書出後

御座極由之方也。由城附之白浪之技を以
て之より遊覧の由同之居免井之方也

一 右段の書

御座極由之方也。柳の間此のより使を以
白浪之より御座の間後同人

但由連極由之例也と云々

一 右段の書

御座極由之方也。使を以白浪之より
御座の間此の由廣浦浦之方也

三つ也

一 市田信濃

一 市田上作

一 稲葉振磨

一 市田

一 酒井の由

日元十七日
御座

由同者
由系礼書

右

御座極由之方也。御座の間此の由廣浦浦之方也

菊之間

壽合

大正五年

宇津一助

大正五年

大正五年

大正五年

大正五年

大正五年

大正五年

大正五年

大正五年

大正五年

大正五年

左田之藤

中納言

大正五年

大正五年

大正五年

大正五年

大正五年

大正五年

大正五年

大正五年

大正五年

大正五年

大正五年

中八拾五

室有之...
大内...

永津 水

...

石...

山名...

...

...

内...

宮...

...

...

内友石...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

内友八百八

...

...

柳...

...

...

菅原公八郎

菅原公八郎
菅原公八郎

小幡文正

小幡文正
小幡文正

林 中平

林 中平
林 中平

菅原公八郎

菅原公八郎
菅原公八郎

菅原公八郎

西尾中梅為方

右家督公親遠近一重名別位同前一人
若年より中階侍

諸七枚

菅原公八郎

菅原公八郎
菅原公八郎

小幡文正

小幡文正
小幡文正

菅原公八郎

菅原公八郎
菅原公八郎

菅原公八郎

菅原公八郎

有長淺道由尾七折取後復山切骨利お勤り
 深下官次出右等親等御代伊豆より山内へ京橋
 御中より道片

此夜

此部定珍味かたけき
 大徳源長徳

右内更お勤り分下分お勤道同行人中夜
 徳元因事

一 明旨

公方振 有長浅道由尾七折取後復山切骨利お勤り

此夜端六時より 此部

一 深女正忌村人の日事 城等々

徳元因事 徳元上利死云

九月廿日

一 今お勤りふら申し由尾道長口平川雇の深谷の尾
 色下分浅道由尾七折取 成 是と清く言ひ
 常盤橋由の大小由のふら申し申す 遠野

一 龍之根を坂下山へて漢家節の記

成中(何年) 還清

日光市 縁後傳

昆布一箱
岩笠一箱
血移一箱

中 光院

右 市之陽へ高血移候に及る之に於て候中へ間
消備之候。

二箱一箱
御守

同 人

右 同(何年) 二箱

消 産 柳 上 山 村 同 宿 送 出 同 宿 同 宿
固 情 也。

上 使 中 山 送 出 也。

戸 田 家 女 心

右 美 光 母 死 去 年 也 御 守 候 也。

九月 宵

御 守 候

大田素民
菅沼新海

文部省

竹中三敬

右於 御前上 仰答

小田原

河井但馬守

関中織

田中

右に 仰答名 御前上 仰答 仰答 仰答

多記

多記

右に 仰答名 御前上 仰答 仰答

一分 仰答名 御前上 仰答 仰答

一 仰答名 御前上 仰答 仰答

九月六日

奥山石亭子

奥山石亭子

秋山松之屋

右於奥山 仰見

一 采女心忌等入白心也 城云

九月七日

大由著

竹中主殿

右廻田由河渡り其常陸河を中列二所

編者多戸渡り

奥山石亭子

木下定六郎

石系勤之沙礼高礼給後名原上ノ事務商
福松平和泉也

一 明八日上野

渡明院極 御其系 清系清曾由佐城

大野之也 仰見

一 采女心忌等入白心也 城云

九月八日

一 今朝之飛

嚴有院極 御具亦

御衣代松平伊兵衛

一 今夕亦早之廣瀬河原之流燈籠上地

後明院極 御具亦 御原新 御衣代

御衣代松平伊兵衛 還御

一 還御後為伺御具代松平伊兵衛

使者之出之於遊園河原之流

一 右河原之德川之真殿子 由城河原之真殿子

有下河原人

一 右河原之真殿子角梅田西丸大自其外由河原

之河原也 城河原之河原之真殿子

一 右河原之真殿子府河原上之河原之使者之出之於

後明院極御具代松平伊兵衛

一 明日之例年也

一 采女正忌身今日也
城守

九月九日

一 采女正忌身今日也
御書院

御紀伊中納言殿水戸中納言殿水戸中將殿

御對顏年白濁信松子紙書
御月見

觀理院禮傍正樹下日向沙礼相承太廣間

渡御守上之庭之主人
荒津礼子由奥障子

一 采女正忌身今日也
御書院
御紀伊中納言殿水戸中納言殿水戸中將殿
御對顏年白濁信松子紙書
御月見
觀理院禮傍正樹下日向沙礼相承太廣間
渡御守上之庭之主人
荒津礼子由奥障子

一 采女正忌身今日也
御書院
御紀伊中納言殿水戸中納言殿水戸中將殿
御對顏年白濁信松子紙書
御月見

一 采女正忌身今日也
御書院
御紀伊中納言殿水戸中納言殿水戸中將殿
御對顏年白濁信松子紙書

御紀伊中納言殿水戸中納言殿水戸中將殿

一 采女正忌身今日也
御書院

一 采女正忌身今日也
御書院
御紀伊中納言殿水戸中納言殿水戸中將殿
御對顏年白濁信松子紙書
御月見
觀理院禮傍正樹下日向沙礼相承太廣間
渡御守上之庭之主人
荒津礼子由奥障子

左近山云々云々

九月十日

一分朝上院

常寧院極

御大前

御代々

御代

日久...

全女
竹廣二

三

前田信濃

竹廣三

田口信濃

福兼

右統

御代

但信濃... 御代... 御代... 御代...

田口信濃

田口信濃

全女

右之字滿川由重信下見分見滿見之紙之旨
格別曾打以年下之紙右之紙之紙之紙之
伊豆之紙之紙之紙之紙之紙之紙之紙之紙之

伊豆

今或及

池田仙九郎
兼其國信物

右之字坂之川由重信下見分見滿見之紙之旨
格別曾打以年下之紙右之紙之紙之紙之紙之
伊豆之紙之紙之紙之紙之紙之紙之紙之紙之
同前

大正

竹中之殿

菅原伊賀守

- 一 右之字坂之川由重信下見分見滿見之紙之旨
- 一 書院紙紙之紙之紙之紙之紙之紙之紙之紙之紙之
- 一 伊豆之紙之紙之紙之紙之紙之紙之紙之紙之
- 一 伊豆之紙之紙之紙之紙之紙之紙之紙之紙之
- 一 伊豆之紙之紙之紙之紙之紙之紙之紙之紙之

一 采女正忌竹今日也

城子

一 井伊直朝少輔之りも

城子

公方御

第子代

御刀 彦彦 澤木 貞安

代 今 十 六 段

御 根 元 重 安 城 子 云

代 今 十 段

大 須 多 御

口

御 准 考 一 打

由 例 云

流 石 御

口

一 籠 子 云

女 中 一

流 石 御

口

御 准 考 一 打

女 中

一 楊 火

大 須 多 御

氏 孫 以 殿

口

日 引 ツ

由 例 云

大 須 多 御

第 子 代

出 羽 十

口

由 例 云

公 方 御

御 准 考 一 打

口

口

御 准 考 一 打

御 准 考 一 打

御 准 考 一 打

御意極まり

〇

女中

菓子代銀

〇

女中

菓子代銀

菓子代銀

〇

女中

菓子代銀

菓子代銀

菓子代銀

菓子代銀

菓子代銀

菓子代銀

菓子代銀

〇

女中

菓子代銀

菓子代銀

菓子代銀

〇

菓子代銀
菓子代銀
菓子代銀

菓子代銀

〇

女中

菓子代銀

菓子代銀

〇

女中

菓子代銀

菓子代銀

菓子代銀

菓子代銀

菓子代銀

〇

女中

菓子代銀

右之御用御用
右之御用御用
右之御用御用
右之御用御用
右之御用御用

女中御使

御用御用
御用御用
御用御用
御用御用
御用御用

御使
女中

御用御用
御用御用
御用御用
御用御用
御用御用

右之御用御用

九月十二日

一介朝増上寺

増信院権 御用御用

御用御用 御用御用

御用御用

石井氏

酒井氏記

由是也
實傳之司

石於

御前

仰付

大浦氏

戸田大守

由是也

能登市十郎

松平七郎
及上杉後河守

山内氏

山内松平

石於津也七世頼重之作
遺願之期遠不重名松平
列所傳之也

一 明十旨一橋介の地之為 底の由信松

六時迄

仰付

一 奉女正忌曾人白也

一 井伊義直師人

九月十二日

一 今ふしむ守むる氣西括揚矣(西) 雜子楊
一 ツ楊由つふ明き地(西) 爲 成(西) 成(西) 成(西)
還(西)

學問也勸者

小書
四年七月九日
福清定也

右に 仰分らるる境(西) 河若(西) 年(西) 吳(西) 中(西) 能(西) 立(西) 氣
出(西) 雲(西) 中(西) 河(西) 流(西)

一 采女(西) 心(西) 念(西) 人(西) 自(西) も(西) ぞ(西) 城(西) 守(西)

一 舟(西) 中(西) 氣(西) 分(西) 浦(西) 々(西) 日(西) も(西) ぞ(西) 城(西) 守(西)

中物敷

御 玉(西) 鏡(西) 一(西) 箱(西)

照(西) 尊(西) 等(西) 々(西)

附(西) 尚(西)

中書院著

海(西) 中(西) 物(西) 鏡(西) 一(西) 箱(西)

河(西) 中(西) 物(西) 鏡(西) 一(西) 箱(西)

小鏡一箱

九月十日

一 八幡増上寺

文昭院棟 御頭屋

御倉行 七井大炊頭

一 八幡本陣

清揚院棟 御頭屋

御倉行 七井大炊頭

時波二

御書院書
清揚院中書の備置
河津山書院

右の如日一稿外、江流 如流の如く、清揚院の

為御書院の如く、右の如く、御倉行の御頭屋の如く、

御倉行の御頭屋の如く、御倉行の御頭屋の如く、

一 明十右月並、出仕、外、御頭屋の如く、

一 宋女、心算、今日も、御頭屋の如く、

一 舟伊、御頭屋の如く、今日も、御頭屋の如く、

九月十五日

一、八、四、五、寸、糸、御、白、書、院

錦、三、寸、把

糸、三、寸

糸、三、寸、代

糸、勤

糸、勤、後

糸、順

糸、順、後

初、御、白、書、院

初、御、白、書、院

口

糸、三、寸、一、把

糸、三、寸

二、寸、一、把
大、後、白、書、院

口

大、後、白、書、院

糸、三、寸、一、把

糸、三、寸、一、把

糸、三、寸、一、把

糸、三、寸、一、把

糸、三、寸、一、把

糸、三、寸、一、把

糸、三、寸、一、把

糸、三、寸、一、把

糸、三、寸、一、把

糸、三、寸、一、把

一末一巻

取勝子より

三葉竹の巻
三和志行入方

蓮花の巻

取帳

田老古より

初九巻長門

浦賀古より

初仙石の巻

取次一巻

大巻

田山二巻

時服三巻

今巻二巻

一巻一巻

入院の巻

去来別巻

中興巻

取納戸巻

留置村の巻
巻末仕之由用
仕息古より

取納巻

大井安三巻

取納

右巻の取納巻

一巻の取納巻は尾巻巻の巻末仕之由用

通留之也。

一 近年之内、この通留の件、白書院に於て先中列に
頂戴し、早う家門を修達し、通留之を早う修す。

一 丸之也、同他石、心念清浄、修持の要、言詞を中
列に頂戴し。

牧野通之也。

嫡子、新江師、以来、徳二、才力持の
中。

石於奥に、修す。

一 昔、江島、元、好夢、由、此、病、我、其、後、以、金、馬、行、矣
よ、中、心、念、系、修、持、の、要、言、詞、を、中、列、に、頂、戴、し。

一 柳、武、整、太、神、言、由、湯、由、後、以、今、後、今、日、以
後、分、時、服、武、整、よ、し、お、同、而、同、人、家、来、修、す。

一 人、之、事、修、す、由、修、持、の、要、

清、善、修、持、の、要、上、賢、聖、の、言、詞、

入

他、古、の、修、持、の、要、

一 家、女、心、念、分、人、の、也、也、
修、持、の、要、

一 子、伊、之、修、持、の、要、今日、也、也、
修、持、の、要、

九月十六日

一 水戸殿より神主名目奉送由被 山城附之

此名より於用之在御下御儀也

奉教

任人院持信

右紅葉山寺教書より此松焚火御同人

讀房

寺山刑部補

寺合

松平岩之助
南都之院

石道之教書分お山吹河先申到御同人奉書

桐原

但書合之由より此松平岩之助寺山吹河先申到御同人奉書

小宮信

津口桐原

川崎勘九郎

船越了之院

正小宮之助
渡邊平十郎之記

被訪新之屋

小宮宗徳之記

松下謙之助

中多全之記

小堀隆中郎

老坂九郎之記

建部心蔵

源平但馬之記

紅林勘兵衛

長瀬清海之記

別所源忠清

田中七九郎之記

植村政之助

右高尾山小住但惣但出入人等
仙舟名古常向

御前元中對馬列成同今渡
若多事申

西九玄傳之

小宮宗徳

渡邊平十郎之記

實大膳

右
仙舟名古常向元中對馬列成同今渡

西九玄傳之

侍在因之

由伊集本下直の勤勞

由吉野本下直の勤勞

勤勞同進本下直の勤勞

由伊集本下直の勤勞

由吉野本下直の勤勞

由伊集本下直の勤勞

石

伊集本下直の勤勞

由伊集本下直の勤勞

由伊集本下直の勤勞

由伊集本下直の勤勞

右之漢系由流七捕由流緩由用お勤由伊集本下直
北因席一伊集本下直の勤勞

一 朔七日紅葉山

御宮直

御到本下直

御系詣御由流掃お勤由伊集本下直

御到本下直

一 今九月御由流今御由流掃お勤由伊集本下直

一 宋女正意分今御由流掃お勤由伊集本下直

一 井伊本下直の勤勞

九月十七日

一 今も時大廣潤堤御所筑紫御所

御宮兼魚 御所兼金目 御所兼御所

三子也り 還御

日光也御使信

中 寛院

右例月出の禱也札 是乃上之御所兼御所

一 還清以後為内御所兼御所兼御所

使也御所兼御所兼御所

一 右例の池川也兼御所 御所兼御所

廣下御所人

一 右例の太内御所兼御所兼御所

御所兼御所兼御所

一 兼女心也兼御所 御所

一 今も御所兼御所兼御所 御所

九月十八日

中系一盞 有明
蒲田一筋
銅一形
水栲一筋

紀伊中納言殿使書

水部少正

中系一盞 中川
柳一筋
銅一形
水栲一筋

水部中納言殿使書

中山信中

中系一盞 橋本
柳一筋
銅一形
水栲一筋

尾花中納言殿使書

澁川豊後

右中系口切多良人、於御留此河邊信之

一 今口月、由信栲

一 納之柳西栲栲より

入

一 采女正良人より

城

九月十九日

三浦門首
室收院

三浦山室收院

心智院

右江藏之 此等名僧由白書院撰錄充中
列位備示与戶候之

藏名

福昌寺

時殿二

右江藏之 此等名僧由白書院撰錄充中

右江藏之

西使寺

小笠原寺

此等名僧由白書院撰錄充中

善願寺

右江藏之 此等名僧由白書院撰錄充中

此等名僧由白書院撰錄充中

西使寺

此等名僧由白書院撰錄充中

增田寺

時殿二

右江藏之 此等名僧由白書院撰錄充中

西使寺

善願寺

時殿二

西使寺

大智院

日

吉野院

中興寺

吉野院

河津良作

吉野院

神宮寺

吉野院

如色大寺

吉野院

檜林

妙巖

吉野院

17

17

17

17

17

17

一 采女正忌身合白也

城守

九月廿日

一 八朝上

大猷院

御霊

有徳院

清行 松平伊豆

御霊

田久七百海行

三ノ家

前田信濃

田久七百海行

福葉播磨

石城海府 海國見

大正

中庄全江

伴 小島

同組長
長野源分司

石城 中庄全江
伴 小島
福葉播磨
田久七百海行

中庄全江

伴 小島

福葉播磨

右之海行

海國見

田久七百海行

一 月並し海行

田久七百海行

一 海行

田久七百海行

九月廿一日

西九條院

長谷川殿

西九條院

石之 仰付名に於て大間若手号中一西九條院
井伊之部小幡中候

一 明正二年松平忠房書院中候出陣

一 宗女心忌外人の白も

九月廿一日

御座間

初め御座間

伊豆守

松平忠房

時御座間

松平伊豆守

宗女心忌外
人白も

御座間

一 今更御座間

御座間

浪子代

去物女

口二

水夢由礼

大友同膳。

水帳

松平山城。

嫁娘由礼

同人

清膳、由礼

大坂同膳

由礼

「水夢由礼」

水夢由礼

「水帳」

水夢由礼

由礼

「水帳」

水帳

水帳

水帳

水帳

水帳

水帳

水帳

水帳

浪子代

浪子代

公事代

公事代

宇津流之助

奥田辰宗

長谷川乙之丞

今田猪之助

初津國久
小八次

九条宗徳
日根年之助

西下直小徳

中務少師徳成
三枝辰之丞

入津流
御通之助

山吹間

家督
隠居
一岡之丞

初一岡之丞
津國久

入津

一松年山吹
津國久
御通之助
初一岡之丞
津國久

頂戴之早方家門は世々年々勤く其儀
連ふ儀傳ふるべし

一 是の令方田藤平秀山谷次郎内友流く世々津
流く世々宮川にとも奥宮同格の家留く由礼
痛執事候々令馬行方上く申すは有具奉儀
家来儀此に

一 明中言お申す所は所儀指す候く由儀は之為
威丈より別由儀指す之儀是儀神由儀
由儀歌 御之儀は此儀に候

一 是の令方家門は今日も世々 候

九月廿二日

一 今由儀より早方西松橋より次上由儀より之為
威丈より別由儀指す之儀是儀神由儀
由儀歌 御之儀は此儀に候
おとすは此に 還御

向後
御前御座

中書院書院

一作地肥之宮

中書院書院

水地石見

宮

向後
御前御座

日

津田山城

右に 竹付名林在石名部
山内井伊之部

一 采女心忌身人白也之 城

九月廿一日

一 今朝増上寺

上皇御院極 御霊屋

御名付書并大御所

一 今朝上御

孝天皇御院極 御頭書

御名付書并大御所

御座間

喜公

火遣夜

戸田右兵衛

戸田内膳

右於 御前上 仰付

松平肥後公
松平越中守
松平後次郎

古為御前上様様也
城下御前上様様御座間

一 日夫公事の丸毛色に伺ふと、秋は長中夜同席

御座間下法下知水先中別所備前守相成

一 明日より濱田在り為 成り給申候様上御座間

仰付

一 家女心算分合りもせ 城下

九月廿日

一 今更に守り給前西指橋坂下也、在濱田在

江為

威正寺

還河

一海女心家分今日也

城

由物教

御

美路 二相
小路 二相

眼

美路 二相
小路 二相
初之 一相

林 肥後

美路 一相
小路 一相

总村 偏後

美路 二相

松平 伊後

美路 一相
小路 一相

大久保 日向

小路 一相

山中 伊後

美路 二相

津尾 豊後

口 一相

能登 河内

口

荒尾 但馬

九月廿六日

内水三巻池

由香通

左指慈願

出口栄之助

由香通之智

右記 山内各坊遊覽河内備前等處
若年号中侍所

一 采女心忌行今日也

城之内

九月廿七日

殿中三別系

時夜二

堀田大藏左衛門

日

板倉周防守

右記 陽之照祝儀先公後今日以後各公
於中... 宣京... 宣京... 宣京... 宣京...

一 采女心忌行今日也

城之内

九月廿八日

一 尚日為西夜候此之方以水戸中候より候之
並に此之於殿獨測測候之候

一 右内之等連川を去候方 山城藩より飛騨守
府下過同人

一 右内之等より此語出候事共 城下之河
芝草河過充中

此内之語を前幕下より
了候

由小須戸

小川新九郎妹

大坂市建屋町之御
三乃子角起候

一 伊濃郡下之

右内之等係此之 御付合之義一問を申列候
備前守了候

但前九郎より候之語は若手云中候也

大坂氏了候

相馬國信の妹

名代丹羽氏に候

同人下

交智云合

潤之山也母方之川九也

中使

内方之川

貴方妹

在曲別市

小中人

石家之老

小出又云

父石家之老川九也

右邊之婿也其後之川九也 仰之

由白書院之川九也其後之川九也

但内方之川九也其後之川九也

石家之老

石院

石高月也其後之川九也

此後之川九也其後之川九也

石家之老

石家之老

石家之老

石家之老

石家之老 仰之

戸渡

西田宗光宛御返
御門番より御返り

濃州志保市佐八

葉山清八郎

右記 御付の御禮に
御返り申上申上
御返り申上

御手紙
全三付

吉川寛三郎

右記 御付の御禮に
御返り申上申上
御返り申上

御返り申上
御返り申上
御返り申上

上使古井大助

松平加次郎

口 松平伊三郎

松平阿波守

右記系所

一 家女心忌より白も

城守

九月廿九日

一 今朝増上寺

有章院板 清室之物

御名代 松平伊豆守

一 明朔日月並し出仕其方也し

一 寧女心是也人うり也

誠

十月御用書

松平伊豆守

堀田侍從

松平能成

河津清隆

酒井同清

相模肥後守

中川忠輝

由略、口方

公事年方

十月朔日

一、今更りては、御書院
生部

由より一線
沿りて
三、四、五

系勤

松平公加賀守

松平左衛門
右衛門
左衛門

石根孫、御書院

生部

系勤

由より一線
沿りて
三、四、五

松平阿波守

由より一線
沿りて
三、四、五

松平甲斐守

松平公加賀守

生部

松平公加賀守

若者

第百

在後山

稲垣若狭

初御門

大隅

戸田玄高

門前

三

實北院

恒藏

三

松高院

入院

本島二

三

一

口

甲

中遠寺

松平

前田後河

前田修理

口

水納戸

二

忠行

柳系小

第百

石

御

一 尚自為此種故尾法敏不便名其為也於
大廟下讀伊古也。

一 松平如實也此札乃在松平系勅此札也

清然之 上三書曰少時也 清貞也少時也

此札中上 亦由書院是然也 由松平院讀

先中

浦野金也

他石 派也

右通人松平金也形也其書院院中 亦由書院是然也

伊豆也相續

傳三平也
今多也

是松平派也

右系勅 此札乃在松平系勅此札也

福山也松平也

松平也

松平如實也

右系勅 此札

御意也 以便名其為也 亦由書院是然也

松浦也

一 今ある事ありしに由法抄に

入納之極西指極より一為

一 明二日一橋外水地より為 成る由法抄に

此 物なり

一 采女心忌 御免先人自出 城

十月二日

一 今ある事ありしに西指極先人由門行揚由門に

雜子揚由門外水地より為 成一橋由門外

明比より為 成由場相取口より三子より

遊御

由勅定

今武殿

大井安之助

石巻洲村に主より重信由用相勅定ありしに

此中より採女心忌に御免先人自出より

京法抄中より

一 明中興... 入院... 此... 紀...
... 城... 此... 帝... 報... 重... 廟...
... 詢... 問... 人...

一 明言

大納言... 皇子... 筋... 此... 成... 以... 此... 信... 按... 此... 時...

此... 物... 也...

一 今... 晚... 去... 精... 沙... 祝... 此... 表... 向... 七... 日... 時... 據... 此... 日...
... 作... 也...

此物教

御... 志... 一... 冊...
... 小... 一... 冊...

賜

小... 一... 冊

神... 尾... 書... 後...

對... 昌

正... 中... 此... 也
... 戶... 回... 此... 也

小... 一... 冊

久... 留... 今... 一... 冊

龍鶴石

由書院書

法橋日念三郎

是北云石商

同日

一玄猪御祝分今志抄守口御白書院

出御沙上殿 御家殿

松平肥後守

尾呂中殿

松平掃部頭

松平左衛門督

松平越中守

松平右衛門守

松平左衛門守

六角越前守

中條山城守

松平大和守

松平滋波守

松平操廣也

松平大守

松平伊豆守

戸田宗女正

牧野清光

古井大炊頭

安房對馬守

石川清中

酒井忠尚

戸田忠作

松平長門守

松平下野守

松平信濃守

松平信平

松平河内守

松平右衛門守

大友國清

六角貞親

戸田備後守

初 分川丹後守

初 日比伊豫守

有馬上総守

立花右衛門守

松平甲斐守

初 阿部伊弉守

酒井雅樂守

右之為、之入之頂戴之親、此之譜代大石

年給大名、内出階、分文、曾、合、意、修、之、言、家

治元、第、之、河、邊、敷、治、右、嫡、子、之、若、年、若、元、治

側、元、之、空、間、由、及、人、治、事、以、治、我、以、治、及、人

法、中、法、服、之、殿、下、在、及、以、之、返、去、人、元

御、之、國、法、解、之、之、并、御、國、見、以、之、

為、之、由、解、頂、戴、之、早、之、之、抄、之、之、也、

御

十月之日

一 今月... 由信...

大納言... 成...

還...

一 昨夜... 飲...

出... 水...

使...

一 右...

廣下...

一 松...

此...

同...

菊...

芳...

内...

井...

名...

甲府勤王日記

播磨守宮子助成

牧野玄庫

久留門守宮子助成

内通守宮子

尾川利之助

山崎

大分守宮子助成

大分守宮子助成

大分守宮子助成

大分守宮子助成

大分守宮子助成

若林亮之助

中多守宮子助成

中多守宮子助成

水井内膳

中多守宮子助成

中多守宮子助成

稲葉乙二郎

稲葉乙二郎

中多守宮子助成

中多守宮子助成

石原十人守

石原十人守

中多守宮子助成

中多守宮子助成

角南健之助

角南健之助

中多守宮子助成

是津原清子之記

津原清子之記

津井万太郎

津井万太郎

津井清子之記

津井清子之記

織田平六

津井清子之記

津井清子

越智八郎

越智八郎

加平丹後之記

加平丹後

加平丹後

市川徳之助

市川徳之助

市川徳之助

市川徳之助

大津清子之記

大津清子

曲淵岩太郎

曲淵岩太郎

小林忠之助

小林忠之助

小林忠之助

田沢庄太郎

田沢庄太郎

此書...
母...
小倉...
...

同...
...

松尾 貞...
...

...

道...
...

...

松山 滋次

右...
...

十月四日

...

右...
...

戸渡

西行中記

戸田の巻

久留米の巻

水戸の巻

長門の巻

志保の巻

時服之記

石之門二日一稿介明記

御成之儀多新田守等下高松山若水松尾重頼

同人戸渡之巻年号中徳元

一今又中徳元中徳元

御成極西凡之巻

今中徳元

中徳元

一今又中徳元中徳元

公方極西凡之巻

成六付

還御

十月五日

一御成之日之為御成極先中徳元中徳元之問法

御成之巻中徳元中徳元之問法御成極先中徳元中徳元

御成極先中徳元中徳元之問法御成極先中徳元中徳元

但著多矣元と於奥頂戴し

一 石段の 御目見しと尚書諸君有今と云ふ
も席く此のく水候也酒等し

松平安永御使

由系一頁
額一打

福永志馬

右系口切等の上と控候間御入保安氣也

此後大石御使

日光北門候

右の由御守、分送と日付の由和りの分

御對候、候と返りのと 御を台方 御せし

一 於奥御常是御能と先中對馬君多矣

中西九と見候は 御せし

一 御送七日御場也、為御書記、高 候の分

御信御不付と 御せし

一 今、御書付、御信候

右候御入廣間西御使、分、奥メ、御入

奥御徳組

全別定

養光

源七郎

市島屋 北三郎
新九郎 市島屋

二人袴

仁三郎

三平郎

兼平

彦七郎

云切 小八郎
桂九郎

定中郎

松風

新三郎

三郎定 栗三郎
法三郎

美ノ目

名ノ目

源六郎

親母定

盛久

吉郎定

市島屋 七郎
小八郎

桂五郎

熊坂

万代

源七郎 源三郎
六郎 八郎

子深

得三郎

十人定

禰虎

彦七郎

市島屋 庄三郎
桂九郎

送惠
祝言
松平
可八幡
中野前
文源前
吉原前
信原前

十月六日

此系系
綱一形

松平和智彦侯

前田後河

右此系口切分爲上之松平後河前田後河

西尾隱政

右此系在河前中野前中野前
河前中野前中野前中野前

河前伊勢
中野前中野前

同
中野前

右此系在河前中野前中野前
中野前中野前中野前

芝草言列在回系同人中

叶二

戸田宗如正

右言臨之也後後及今後人自後後及今後
中言言後後及今後人自後後及今後

自然言言言言言

日光寺川院後傳

順禮院

右言臨之也後後及今後人自後後及今後
白言言言言言言言言言言言言言言言言

十月七日

一公言言言言言言言言言言言言言言言言

流言言言言言言言言言言言言言言言言

塔言言言言言言言言言言言言言言言言

言言言言言言言言言言言言言言言言

右言言言言言言言言言言言言言言言言

伊言言言

但言言言言言言言言言言言言言言言言

流平致
時辰二

全三及
時辰二

三在四首

寶水院

之在亂之守天台堂次

松言院

石取身第下名
柳河内人

日久身行

之楊水院

石取身第下名
柳河内人

清和年中
東院文未
伊豆守
返上

由物教

御
新九母

服

新一母

立花出雲

言并遊海

白河甲斐

淡路中務

志之及

口

口

口

口

十月八日

一 今朝上院

浄明院様

浄霊さま

御名代物お傳へま

十月九日

一 今朝時山宿指し候上雨庭に候 嵐大の

上院より一早の二九の嵐

他二九の 浄風水庭川に候上雨庭に候 御名

松平肥後さま

松平越中さま

松平廣次さま

右為家御挨拶也

松平忠重書院御留書中

也

大政邊無改か収

朱子三月中心にお訪り

間字友之所

石之 作付多、龍石寺、於在御前、伊豆、中、渡、
若年、芳、中、侍、凡

第一冊

明書院書院

法華寺、中、務、小、浦
永、秋、元、年、八、日

石之 丁、卯、七、日、御、場、也、

御、威、之、公、能、服、也、

作、付、提、例、身、事、下、名、於

拾、授、満、立、元、出、中、事、下、渡、

十月十日

法華寺

總持寺

中
法華寺

右、復、藏、之、作、付、全、法、惟、白、書、院、御、敷、元、中、列、座、
伊、豆、中、侍、凡

中
法華寺

永井教貞

右、秋、田、信、濃、也、我、病、氣、也、在、所、臨、居、元、出、子、
現、狀、以、依、法、刻、刻、元、為、見、在、之、法、也、以、之、
法、用、之、也、也、由、右、寺、御、敷、元、御、敷、若、年、中、侍、凡

増田折津村中流へ

西丸出候目録

船内並に外船に在りし物

赤火

増田貞助

右 舟内各物積込大圓美茶等中志大丸並に同入
中流へ

一月並に海難あり、林入等頭勤し

但宗女心希程御事あり

一 明土日六時、由佐船より一橋へ出立、為 成合

江 舟出

但天氣相分、今少く七時過ぎ、由佐川へ 舟出

十月十日

芳合

松平小十郎

火事場見せり

戸田内膳代り

右 舟内各物積込大圓美茶等中志大丸並に同入
折津村中流へ

十月十二日

一 今朝増上寺

増信院極 御霊前

御代七井大炊頭

十月十二日

上使荒川常次郎

井伊掃部頭

右執事府内

一 明堂日地寺

文眼院極 御霊前 御系諸尊御位

不時之 御位

但護國殿是年中 御所説之 台口上之

十月十日

一 今お打立之 御位 廣河院御位 御位 増上寺

文眼院極 御霊前 御系諸尊御位

護國殿是年中 御所説之 台口上之

遷御

一 是後以後の御即位は、御遷御の事、水戸中野の御遷御の事、
是後以後の御即位は、御遷御の事、水戸中野の御遷御の事、

一 右の御遷御の事、御遷御の事、御遷御の事、御遷御の事、
御下御同人

一 右の御遷御の事、御遷御の事、御遷御の事、御遷御の事、
御下御同人

一 右の御遷御の事、御遷御の事、御遷御の事、御遷御の事、
御下御同人

一 右の御遷御の事、御遷御の事、御遷御の事、御遷御の事、
御下御同人

一 右の御遷御の事、御遷御の事、御遷御の事、御遷御の事、
御下御同人

一 右の御遷御の事、御遷御の事、御遷御の事、御遷御の事、
御下御同人

一 右の御遷御の事、御遷御の事、御遷御の事、御遷御の事、
御下御同人

十月十日

一 右の御遷御の事、御遷御の事、御遷御の事、御遷御の事、
御下御同人

出

由乃力一取
今二二取
伴三十一把
由馬路皆一正

由乃力一取
今二二取
伴三十一把
由馬路皆一正

由乃力一取
今二二取
伴三十一把
由馬路皆一正

系勤

水伊掃於

由乃力一取

阿部主計殿

隱居由

阿部伊勢守

兼福家老

宮中由

古屋保三少

由乃力一取

初

由乃力一取

水伊掃於

由乃力一取

由乃力一取

水伊掃於

由乃力一取

水伊掃於

由乃力一取

由乃力一取

水伊掃於

由乃力一取

由乃力一取

由乃力一取

由乃力一取

由乃力一取

由乃力一取

由乃力一取

二十二年

二稿完

全三枚

秋田信長
江ノ上
由良

由良

永井教有

小春

由良
由良

堀谷文房

岩作以菟

比留岡助左衛門

上野守河之部

大目久

大目久

前沢有十郎

山田有十郎

右平の日記

合

一 書目為由良信長尾張殿へ使給ふ書状

由良信長

一 永井教有より由良信長へ書状

若年寄甲由良

由良一
由良二十
由良二十

井伊孫次郎

十月十七日

紅葉山 御家。御家行。等。

但云々守宮日大英女中。内由女老云々。等。御家行。等。御家行。等。

一 右智日支那。流。例月。由。礼。信。信。系。云。云。等。

云々。河。飛。揚。云。云。等。使。信。中。等。由。礼。抄。返。等。

一 明十八日。漢。由。云。云。等。威。云。由。信。云。云。等。

作。等。

十月十八日

一 今。云。云。等。日。云。云。等。由。信。抄。返。等。漢。由。云。云。等。

威。云。云。等。云。云。等。

由。信。云。

市。云。云。等。

云。云。等。

和。田。云。云。等。

全。部。云。云。等。

等。云。云。等。

右。云。云。等。初。川。水。云。云。等。云。云。等。云。云。等。云。云。等。

平下念松右名丸部心御歌伊豆中下流之流
御中より侍

水物救

御

尾中 二羽
小形 二羽
志野 十六羽
云雀 一羽

服

林 肥後

志村 備前

志野 三羽
尾中 二羽

小形 一羽
志野 一羽

戸川 廣三郎

神尾 忠之助

山中 伊勢守

松平 安房守

太保 日向守

口野 一羽

志野 一羽

志野 一羽

17

11

御歌極

尾中

石之巻 一羽

十月十九日

破中之別系

十月廿日

新庄後河
名氏同祖焉
子
同 龜丸

右之病勢有賴之在臨居之
嫡子龜丸之弟一重名於波之洲先申列於伊豆
戸渡之

一 明中一重名於波之洲先申列於伊豆

十月廿日

一 重名於波之洲先申列於伊豆
大名高平賴守松平宗茂等
古遊道河初之流

一 備前之柳より一河津書長高唐勢島相次

瀬戸川

紀伊中納言殿
水戸中納言殿
尾張中納言殿

柳川

松平如好殿

松平與左衛門
松平越前守
松平肥後守
細川越中守
松平信濃守
松平尾張守
松平阿波守
有馬中納言殿

上杉謙信
佐竹右京亮
松平右近
家 對馬守
松平清波
伊達玄親
松平忠房
松平上総介
松平大膳
松平播磨守

松平權助
松平義隆
南無大菩薩

西中頼守

松平榮太夫

一例 御内書渡向松平家行松平官位
御少将不願後

井伊掃部

右為何部

堀松書院

公地院

院

右領藏 伊賀守 伊賀守 伊賀守

一 今八月 伊賀守 伊賀守 伊賀守

十月廿二日

一 明之日本 川崎 伊賀守 伊賀守

伊賀守 伊賀守 伊賀守

伊賀二

伊賀二

右之書院 伊賀守 伊賀守 伊賀守

十月廿二日

一 今之世... 京都... 山口... 梅津... 平川...
 由門一物... 鎌倉... 小川... 為...
 由... 成... 門... 門... 門...
 口... 口...

由物表

御
 長... 七...
 小... 一...
 長... 一...
 尾... 一...

服

長... 三...
 口... 二...
 口... 一...
 小... 一...
 小... 一...
 小... 一...
 遠... 友...

長... 一...
 小... 二...

還河分付

長...
 中...
 石... 政...

御

正后 二
大后 一
后 一

服

后 一

能魂河内

小后 一

是村備後

正后 一

多居越前

正后 一

松平安房

正后 一

中多八藏

小路 一

小本弟

村司

正后 一

中
菅井次全

小田新十郎

十月廿一日

一 今朝上

孝恭院

御心

御心代母伊之

一 海内所

中侍所

正四位上左大臣

勳一等公

源朝臣

右川忠助

右

少輔左大臣

上侍

河津

松平

口

松平

右

少輔左大臣

右大臣

正四位上左大臣

一 今九月中 由信指上 由信指上 為 成

十月廿一日

殿中之別家

十月廿七日

由久

津田
長久

右三浦氏領之在清江

伊豆之在津田氏領之在清江

伊豆之在津田氏領之在清江

一 柵村渡河之由使分人今日也 城云々

十月廿八日

一 尚自為出後城由之家方水戸中野領り

使分人等領之於津田氏領之由也

一 右田村分津川を領り 城津田氏領之由也

一 兩府下領同人

一 右田村分津川を領り 城津田氏領之由也

一 尚自為出後城由之家方水戸中野領り

一 榎村後河、今日也、城云々

十月十九日

進物次上書

流指致

中村幸平
名、小口小左衛門

右免妻身願、存、流後

御免且、幸平、以、進、之、相、勤、り、分、り、申、上、り、

下、之、免、之、流、後、河、云、々、

中流云々

一 榎村後河、今日也、城云々

十月晦日

殿中、至、別、系

一 榎村後河、今日也、城云々

一 明部、自、月、也、出、其、分、り、申、上、り、

十月清用書

上井大炊頭

立花出守家

出勤近松年鑑也。

榎村後河守

水野出守家

為永福大内記

小田切大内記

石川氏通判監

公書一十

也勝之方

小笠原私印

山本右衛門

伊東也之印

十一月朔日

一 今宮御書院
公方権 大納言権沙一同 出御

後唐如帝

「京極志之助」

「考公 大納言人」

「伊東之助」

也勝之方

新在龜丸

隠居也

新在後河原

名代 堀内氏

押之代

押之代

押之代

押之代

押之代

一末一巻

色衣
中

派
勒
寺

水次一同

系上

魏世之史

水末廣

水納戸持

系上

納戸持

三
福
三
年

筒音

忠
山
長

兼
管
之
助

作
友
友
友

松
下
内
通

口 口 口

右
平
右
衛
門
守
宗

介

一 尚
白
鳥
山
後
松
尾
池
殿
之
使
方
之
宗
宗
之
於

大
倉
下
通
大
助
氏

一 介
友
友
友
之
宗
宗
之

大
納
戸
持
西
指
楊
之
宗
宗

入

一 今月

大納言極中衣 出御河一同申し為 諸い
可成仕く初... 桐葉... お新米... 前満
大納言由圓符... 大納言... 出... 申...
侍所

但由礼... 大納言由圓符... 席... 申...

一 於御... 申...

一 植行... 申...

淑雅... 申...

申... 申... 女中

大納言

申... 申...

右女中... 申...

十一月二日

敬中書列系

一 極村後河内八日也

城守

十一月二日

也

肥田豊後

大抵夕刻名身也、市於此也、其書院跡元中初成

了也、清和年中、由後文平、於此、返上

一 唯日溪、由在口、為成、中唐、採六、時、

作也

一 極村後河内八日也

城守

十一月二日

一 今、六、打、ま、す、み、ら、り、西、指、後、坂、下、也、門、色、

漢水産少なる 成水産多なる 遠方

西世小坂

市上産

田沼蔵之助

同通

稲葉播磨守

右之田沼主計蔵頭重忠存意裁之助儀出立子江
比曾遺願之相違、江戸重忠松平入道名成
左之田沼大坂以中夜

菊之河

奥公

伊藤与実子息

全田之税

門

新中三子息

山内系氏助

新中三浦和泉

北持氏

平八三子息

大崎玄庫

奥公

安藤重子

細井尚之助

徳

内及

大橋

仁

名代

織

神

名

三

新

堀

中

吉

二

佐

平

松

尾

澤

雀

名

三

若川

尾

友公前實之為成

粉皮 嘉藏

名代 嘉藏

渡之 子中前之記

大云字子忠成

水上 專流

清和 孫子忠成

市之 字子忠成

堀新 市高

酒外 但島之記

渾之 字子忠成

大石 以次郎

名代 公忠成

石之世也 公相遠之 亦一重名 列於此 以見之 同一人

渡之 若年 亦中 以傳在

謝 訖 間

及 記 勅 之

評 定 公 忠 成 功

公 忠 成 功

登 行 虎 之 座

石 田 之 名 同 人 亦 渡 之 傳 於 同 人

田小畑戸

新出

伊加多子

三尾物平所

石田町 台地奥に位置す

一 植村渡河 公日也

城等

水物敷

御 志務 持母
小務 持母

視

志務 小務

神代書より

門 志務

本傳日向

門

能勢河内

志務 一
小務 一

松平志務

志務 二
小務 一

松平作渡

志務 百

志務作渡

新出

田小畑家より

小務 二

玉虫尺書

十一月廿

敬中 之 別系

一 今九日付之由信指之西凡之為 成

一 伊豆守右使付今日出之 城守之

一 地村後河之今日也等 城守之

十一月廿

一 今日付之由信指之西凡之為 成

一 上流之 仰出之 大氣胡等八胡出也 別系

仰出之

中流也

伊豆守右使付

時辰之

出虫反古

右之昨日由信指之西凡之為 成

一 今九日付之由信指之西凡之為 成

一 伊豆守右使付今日出之 城守之

此中取

分別

右取順子名 右横火洞之右 出雲守 戸渡

一 伊豆守人 今白也 城

一 榎村 渡守 今白也 城

二月七日

板倉之水依

後 戸田大膳

嫡子

同 輝

右取 渡守 頼之 通 隠居 江 信守 家 傳 也

相 違 婦 子 輝 之 今 白 也 重 吉 也 輝 之 家 傳 也 中

列 所 大 師 以 戸 渡 之

一 伊豆守 渡守 今白也 城

十一月八日

一分朝上節

渡明院極 御供

御供代 松平伊豆守

松平肥後守

松平廣次守

右馬頭御成婚式

城守御書院御儀

此後

此後

花村忠之丞
久田孫吉守

右衛門 御供

十一月九日 河津花田 松平重定 威儀守

御供代 松平伊豆守

御供代 松平伊豆守

十一月九日

一分朝上節 御供代 松平伊豆守

一橋也つふらうの河邊に於て是の書に記す

成るに事少き事なり

是亦先漢書
に事少中習書

二男

如 同 片 腦

右類は二男は後漢の天子に 伯父と云

波の河先中列に在る物に記す

此書は二 聖聰院破

石女中より取使ふる事あり

此物教

御

小書 一冊
古書 一冊
小書 二冊
古書 一冊

眼

林 紀後書

神屋書後書

口

古書 一冊

小治 一冊
粉 一冊

戸塚 古之部
久田 源之部

是(一)力(一)力

御

高杉 一冊
小治 一冊

根

高杉 一冊
小治 一冊

川

林 肥後
矢野 吉之部
源 小治 吉之部
久田 源之部

高杉 一冊

源 小治 吉之部

高杉 一冊

源 小治 吉之部

川

源 小治 吉之部

川

源 小治 吉之部

高杉 一冊

附

川

源 小治 吉之部

高杉 一冊

源 小治 吉之部

新書 和名考

高杉 一冊

源 小治 吉之部

口二張

在寺中大通の宛

口荒川中流の宛

十一月十日

瀧一鶴書

張珍致

腹筋の字印を
後、内海に片

右、先、裏、身、願、を、以、て、

御免、且、久、く、世、悔、念、相、勤、の、旨、を、由、後、先、致、し、今、

於、後、火、間、若、年、分、中、於、此、在、之、先、出、立、之、旨、を、申、上、候、

押書致候

治林中、申、上、候、

勤、の、旨、を、申、上、候、

奉、火、上、書

後、友、新、公、所

右、今、於、此、所、在、候、旨、を、申、上、候、

一月、並、に、海、新、の、旨、を、申、上、候、

但、後、先、致、し、申、上、候、旨、を、申、上、候、

十一月十日

一人、口、申、上、候、旨、を、申、上、候、旨、を、申、上、候、

上諭
作
係
天
氣
相
宜
今
期
由
延
門
江

時
辰
三

新
正
書
局
書
換
日
記

石
井
派
書
局

大
正
書
局
書
換
日
記

其
川
忠
信
書

右
之
月
九
日
之
河
邊
節
也

御
風
之
良
多
將
留
日
分
派
下
台
於
此
右
之
月
九
日
之
河
邊
節
也

大
正
書
局
書
換
日
記
若
多
書
局
中
信
書

十
月
十
日

一
今
期
增
上
寺

博
信
院
極
御
矣
矣

御
風
之
良
多
將
留
日
分
派
下
台
於
此
右
之
月
九
日
之
河
邊
節
也

十
月
十
日

右就系所記

正徳二年

上段物部氏系

松平肥後守

度水部半郎

松平越前守

日石部利左衛門

松平左衛門

日中多保左衛門

細川越中守

日見部左衛門

松平河内守

日荒川部左衛門

松平尾張守

日日人

湯原松平宮内少輔

日水部左衛門

湯原松平一分隊

日戸川部左衛門

松平河内守

日神尾部左衛門

松平大目付

日進部左衛門

日

日

日

日

日

日

日

日

17 松平安永参上

17 奥山守中前

17 松平大膳参上

17 迫原勘定

17 松平操参上

17 戸山守中前

17 松平相摩参上

17 村銀七郎参上

17 松平大膳参上

右之通 此等 為 此 紙 前 之 事 城 様 へ 聞

細川紙中 松平河原守 松平大膳参上 松平一心参

名代 池田内膳 松平相摩参上 松平安永参上 松平

右等 松平相摩参上 松平河原守 松平大膳参上 松平

通 大 儀 出 参 上

但 其 印 乃 七 月 廿 日 減 号

紀伊 松平 氏

長谷川 松平 氏

右等 松平 氏 是 等 以 上 使 出 参 上 乃 是 等 氏

此 札 是 等 氏 之 儀 出 参 上 乃 是 等 氏 之 儀

十月十日

一人自内由佐掃之次上由在吉茂 成園的
上賢之云々

此山宮之居先

山角宮所存

時服二

右先著會頼之住法之次

御使内平矣以迄之八 楓動之次由藤口之次分

於此右宮之形細敷之申列之六次故以上候

小宮之居

此山宮之平中所記

湯川安道

是神宮之居也

一坂 吉茂

此山宮之居

右之 此山宮之居國府之田ノ合候之若年矣申
備之

國府之居

此山宮之居

吉茂之居

此山宮之居

此山宮之居

右記 仰付名額火調者年表計額在左
出云由中後

一 明子六月月並一由住共外由礼記之

二月十日

一 今口官守守下分前清江白書院
出清

聖刀一腰
出二十枚
出二十枚

出二十枚
出二十枚

出二十枚

出二十枚
出二十枚
出二十枚

出二十枚

系勤

松平肥之丞

松平國元

大和子

松平重元

松平國元

松平大和子

松平國元

松平重元

松平國元

松平重元

松平國元

形之日一版
合之北二
攻二

心
心

日

老
老

日
日

日

山
山

日

合之北二
攻二

合之北二
攻二

家
家

田
田

病
病

松
松

日

七
七

始
始

松
松

系
系

福
福

若
若

大
大

任
任

使
使

日

使
使

沙
沙

甲
甲

甲
甲

酒
酒

系
系

世
世

肥
肥

諸子行

初子油目見
内記悉成

酒井善右

衆一同

三筆

石名見

了
意

由納戸構

三筆

由行官

酒井善右

諸子

石名見

入

一 當日為由納戸構
諸子行

公帖
御系下
御系下

今地院

石名見
酒井善右

甲府勤王記

酒井内記

吉野勤王記

一 酒井内記
諸子行

右充元重子頼之在也

御第九日奉書云云、相勤、且為由、重、元、之、子、在、於、
也、右、重、子、頼、之、在、也、中、列、在、大、師、院、以、後、

一 備系也、元稹、曾、人、の、日、中、

城、守、

但、今、朔、安、後、女、子、也、

二月十七日

一人、朝、紅、葉、山、 清、室、

清室代、松平、伊、直、也、

日光山、後、使、傳、

中、貴、院、

右例、月、也、の、禱、也、此、美、全、之、如、禱、大、國、道、大、師、院、

中、國、人、使、云、

也、系、一、系、
寄、禱、一、系、

上、原、回、石、貝、也、

右、由、系、口、切、等、之、為、也、於、同、席、禱、同、人、

一 例、年、奉、持、奉、之、朝、之、 仰、也、

公、九、日、守、也、分、前、清、室、書、院、 出、清、

桐子

持

兄

中 岡 坊
林 門 院

一 圓 勝

兄

安 井 仙 如
元 丈

兄 弟

井 之 五 郎

二 圓 勝

安 井 知 得

角 行 落

大 楊 宗 英

大 禰 宗 深

定 角 行 落 之 相 贈

子 弟

井 之 岡 碩

伊 賀 家 者

合 清

小 配 勘 定

人 見 後 長 遠

右 年 九 十 守 前

此 之 致

右長虎門内不極外也其法用相動以名
沙下名於遊瀉洞伊夏等中後之塔曰新津川
續之

池七枚

由善法方不...

矢、新、友、藏

右向山由用相動の分、流、下、名、河、流、若、平、寺、
中、部、所、立、名、也、中、部、の、中、部、

由法同...

全同者七...

池之枚

全之也

由善法方
尚分改改行...

法、見、石、助

口、之、也

由善法方
法、本、平、寺

右國山分、第、新、津、橋、大、河、塔、曰、新、津、川、

一 明、中、八、月、川、流、也、其、法、成、以、由、法、標、六、時、

法、作、也、

一 由、善、法、方、不、極、外、也、其、法、成、以、由、法、標、六、時、

二月十八日

一今六所中風景全日沙貝坡二瓦湖與大魚色

大川筋少流

成二平十三年六月廿一

還清

但清和和安領時沙下全發

小山新前池
由紀細路

塔八所左邊

昌李次者
由紀細路

右

竹曾名於西園洲大城於後三年事

中侍所

上使并之仲

松平肥前守

由紀細路二

戸川陽次郎

有島上條介

口

津尾由良守

吉原元直守

口

進藤元直守

松平左衛門守

口

右邊之沙石高也此以松平左衛門守有島上條介

松平紀元の事、城下帝徳河原松平有馬

片倉重作

他立花氏と戦つた及七村也 城下

一 備前守松平重信が今月也也 城下

伊物敷

御 小物 六相
新物 三羽
為信等 三羽

順

林 肥後也

松平信濃也

足村信後也

神尾忠尚也

大久保昌直也

山中伊勢也

能登河内也

吉原也

山本也

小物 三羽

小物 三羽

小物 三羽

新物 三羽

小物 三羽

〇

〇

新物 三羽

新物 三羽

二月十九日

御座間

御座間

御座

火清夜
御座間

堀田幸之助

大御所

大御所御座

御座
御座間

山岡平兵衛

御座

能登長左衛門

御座
御座間

口

御座
御座間

御座

之宅助之九

御座
御座間

大御所御座

常貝三左衛門

御座
御座間

御座
御座間

設樂長之助

御座
御座間

御座
御座間

江馬守兵衛

御座
御座間

御座
御座間

天守御座

右

御座

御座

一 甲府勤王の配酒井善政の遺之殿の御指図
書院満元中列位 御常沙汰御書
此記文小大御院相續

一 甲府勤王御親負御信憑書上御列元為
見布一紙御指圖御書院御書中列位
御書 御書小大御院相續

信小院使信

小治中御

以波二

若子使信

松坊

日

右由御分御書御指図御書院御書中列位

古書見

了意

此由見

右由御分御書御指図御書院御書中列位

上波進御書院

松平忠元御書

御書見

日 中多御書

松平越後

日

17 粉屋十郎屋
松平清次

17 小室重政
松平肥後

17 西宮村
丹伊孫次郎

17 古原信吉
松平越中

17 石田五右衛門
松平清次

17 柳屋
松平清次

17 天保村
松平清次

17 酒井雅直
松平清次

17 高田元次
松平清次

17 松平清次
松平清次

17 松平清次
松平清次

17 松平清次
松平清次

17 松平清次
松平清次

17 松平清次
松平清次

17 松平清次
松平清次

17 松平清次
松平清次

17 松平清次
松平清次

17 松平清次
松平清次

17 松平清次
松平清次

17 松平清次
松平清次

17 松平清次
松平清次

17 松平清次
松平清次

17 松平清次
松平清次

17 松平清次
松平清次

遊青山大勝元

但松平定洋公松平侯治公一乃七代公一城也

一 宿願寺大座標 御免年八月廿日 城

十一月廿日

松平越中

右為代初城也 城址也書院後御通元中

京 初務院

正右衛門

真 福寺

右位祿正 御身名控取白書院御款元中
列座大座標御通元

徳川右衛門尉

小公文書

右位祿正御通元

心鏡院御通元之圖取只取法衣之流取香典

心鏡院御通元之圖取只取法衣之流取香典

二月廿一日

一、今日付、中依揃、歳、西、左、右、為、成、
南、水、馬、上、讀、人、之、

秋、日、信、濃、也、

名、代、松、年、伊、知、也、

元

安、東、乙、之、座、

名、代、松、年、伊、知、也、

右、夜、乳、分、額、之、分、臨、居、也、

伊、知、也、安、東、

乙、之、座、讀、也、之、
伊、知、也、安、東、之、祖、家、也、

之、座、讀、也、之、
伊、知、也、安、東、之、祖、家、也、

也、

戶、田、河、前、大、座、

名、代、村、之、之、座、也、

右、夜、乳、分、額、之、分、臨、居、也、

伊、知、也、安、東、之、祖、家、也、

伊、知、也、安、東、之、祖、家、也、

十二月廿二日

中級戸組

水接取

作少國入書

右、水取、由、此、所、用、之、水、其、利、損、動、以、身、
下、之、所、由、由、石、之、所、由、之、所、由、之、所、由、之、
若、年、長、中、所、由、之、

中級

江馬年長

石、中、由、此、所、用、之、水、其、利、損、動、以、身、
下、之、所、由、由、石、之、所、由、之、所、由、之、所、由、之、
若、年、長、中、所、由、之、

中級戸組

上級中多升下

真田氏後

口物原十郎

中多隠

口山本宗政

松平丹波

右、水、取、由、此、所、用、之、水、其、利、損、動、以、身、
下、之、所、由、由、石、之、所、由、之、所、由、之、所、由、之、
若、年、長、中、所、由、之、

縁歌謡音山天孫記

一 明中二言演成在少為 成以名山信持人付

以 作也

他天乳お智分言六付も雨也門一各言
作也

十一月廿一日

一 殿中之別系

十一月廿一日

一 公卿上代

孝宗院板 御頭系
御名代 系持傳中

御前

中奥市番

服部頼母

由能子
戸田源兵衛

右様 御前

他河階

大介保大陽

右様 百八朝刻家行也
城行由了書院
湯元中刻此所也

一 明大寺濱田庄之為 威以由信持六時

之 作事

一 伊賀守島津分人白堂 城無

十一月廿日

一 今六打三子口り正信院城下由信濱田庄

為 威六打三子口り 還清

一 寧入身由之書也。德川家之殿水戸中殿より
由城附在の御城廻り相伺に於て是處より
湯大坂頭

一 石岡町生由因和方由城附在

御老極御持廻り相伺に於て是處より湯

由向多居物本相大内記

但向以書

書付極御持廻り相伺に於て是處より湯
相伺に於て是處より湯由向多居物本相大内記

湯是書附留

湯語

夏草間

三草

石之間

石記

中之間

中記

石岡町生由因和方由城附在

湯大坂頭

小笠原氏

久貝丸ノ為ニ記

柳原ノ事

名代ノ事

名代ノ事

同 記ノ事

同 少子ノ事

作ノ事

名代ノ事

名代ノ事

同 十七名

同 名代ノ事

京ノ事

名代ノ事

名代ノ事

同 大ノ事

同 少子ノ事

柳原ノ事

名代ノ事

名代ノ事

同 大ノ事

同 名代ノ事

京ノ事

名代ノ事

名代ノ事

同 大ノ事

山口 小室宗茂

成清海

名代 杉下 信房

信房

同 次郎

山口 是也

渡部 敏有

名代 杉下 宗人

宗人

同 謙五郎

山口 小室宗茂

櫻井 庄助

名代 田中 一高

一高

同 平九郎

山口 平九郎

同 官造 酒原

名代 林 十郎

十郎

同 時藏

山口 久良

留永 源次

名代 久保 幸次

幸次

同 信太郎

山口 佐々木 宗茂

内方新本集
卷之八
年古事子

同 尊之助

口 是北原信隆之記

德永政市郎

名代 龍岡寺書院

少事子忠成

同 淡之丞

口 新編源氏物語

前河 武部

名代 大津大津守

名代 古事子

同 西条清房

口 皇代乃前之記

小室系 伊藤

名代 平定又八郎

名代 忠成

同 古之助

名代 信 古之助

口 小室系 若狭の記

弟 豊後 若狭守

名代 忠成 大助

名代 忠成

同 能之助

口 是北原信隆之記

榎村 忠之丞

名代 榎口 九平守

實子如故

同 浦古席

口 中多々名子如

秋原 浦古席

名子如故

實子如故

同 百物

名子如故

口 是也 浦古席

大少保 谷古席

名子如故

實子如故

同 全派

甲 浦古席

名子如故

實子如故

同 浦古席

名子如故

小 浦古席

名子如故

先回場 浦古席

名子如故

實子如故

同 浦古席

口 浦古席

川勝 浦古席

名子如故

名子如故

字子思从

一 同 小丁去

日 津口市抄写本

一 松栢抄本

一 名代北条早良公

字子思从

一 同 是日所

右 願之在陽居 仍守家賢世而遠之以下

重分乞中別公在大城抄本 後之著年号中仍存

隣道間

小字

長尾九条

一 花井抄本

一 名代一抄本

字子思从

一 同 是日所

一 名代一抄本

日 出雲抄本

一 加茂市

一 名代一抄本

字子思从

一 同 是日所

西大寺屋本

如文附
西九由廣東の葉書

林 久義
不代、徳田、金云

同 金十郎

小笠原信

徳多、五十、十郎、他

一、歌、海、流、流、流

長、破、村、和、初

実、子、忠、成

同 宗、次、子、郎

同 五、郎、九、郎、他

古、田、源、三、郎

名、代、小、笠、原、三、郎

忠、成

同 名、代、三、郎、他

名、代、三、郎、他

右、田、の、各、同、人、合、後、の、信、在、同、家

由、絶、戸、家

小、笠、原、大、工、抄、卷

後、田、伯、老、同

名、代、柏、示、但、是

実、子、忠、成

同 見、信

同 伊、藤

如、文、附、也、如、葉、書、の、求、勤、り

右内... 皇... 中... 立... 生... 中... 陪...

時辰二

杉年... 分... 記...

世... 中... 胎... 記...

右... 皇... 中... 立... 生... 中... 陪...

中... 皇... 中... 立... 生... 中... 陪...

相... 記...

聯... 記...

俄... 記...

右... 皇... 中... 立... 生... 中... 陪...

福... 記...

一 伊... 皇... 中... 立... 生... 中... 陪...

但... 皇... 中... 立... 生... 中... 陪...

一 京... 皇... 中... 立... 生... 中... 陪...

由物教

御

玉... 皇... 中... 立... 生... 中... 陪...

服

（去）
新物 二石

新物 一石

（新）
新物 一石

小物 一石

小物 一石

小物 一石

（新）
新物 一石

林 肥後

能登河内

神戶尾書

色谷川書

福平 仙波

山小 弟他

瑞平 弟他

十二月廿一日

津波間

津波間

由指

井戸 弟他

由指
朽木 弟他

由指

朽木 弟他

他洞

大保 弟他

右於 御用 係

西九郎書院書

山口和久郎

一 測家名貴女

西九郎

一 山名玄書

小室

一 華七九郎

一 坪内子

小室

一 山名玄書

小室

一 遠方玄書

右願之在縁廻り 竹曾孫松葉之間に中一
對馬より列座大徳氏中後之若菜玄書一西九郎
侍在

備前中津藩

中津藩

一 相見岡備中

一 石川中津藩

一 友成中津藩

一 大分保元中津藩

立花中津藩

父友成中津藩

備後守殿

石川子勝叙取

名付、三子子勝

西行北條氏書

出題、忠臣

一、三ノ口十右衛門

権村政行守殿

父出題、方、三ノ口

大田守殿

水田守殿

従、大田守殿

喜合

一、水田守殿

大田守殿

北條氏、父甲必丹、三ノ口

母、大田守殿

喜合

横田守殿

右、大田守殿

従、横田守殿

水田

喜合、忠臣

一、水田守殿

水田守殿

父、大田守殿

右進、大田守殿

同席掛、大田守殿

但、相違、同席、石川子勝、水田守殿

大田守殿

小室信徳日記

船載後河
舟行是也

右痛刺骨類之在河以

御覽之公坊也右方有船在河無先中刻在大船
P. 後

大田著

因多中記也

留水公記也

口人記

流矢源也

山口亭記也

何事記也

本記也

大田著也

右記 何事記也 山口亭記也 本記也 大田著也 大田著也 留水公記也 口人記 流矢源也

山口亭記也

上段小室信徳日記

松平伊弉册也

口 柳原屋也

中多中記也

口 戸田屋也

松平五之次也

口 柳原屋也

大田著也

口

口

口

口 真山平太郎

西尾 謙次郎

口 荒川 武夫

松平 長門

右 左 右 左 為山 礼 松平 守 松平 守 伊 守 守

右 中 多 三 河 助 松平 守 守 守 守 守 守 守 守 守

松平 守 守 守 守 守 守 守 守 守 守 守 守 守 守

現有 為山 守 守

一 右 同 守 守 守 守 守 守 守 守 守 守 守 守 守

芝 守 守 守 守 守 守

南 守 守 守 守 守 守

如 守 守 守

時 辰 二

右 守 守 守 守 守 守 守 守 守 守 守 守 守 守

右 守 守 守 守 守 守 守 守 守 守 守 守 守 守

相 守 守

西 守 守 守

守 守 守 守 守 守

山 守 守 守

口 奥山半島

西尾 隠岐

口 奥山半島

松平 長門

右 奥山半島 奥山半島 奥山半島 奥山半島

奥山半島 奥山半島 奥山半島 奥山半島

奥山半島 奥山半島 奥山半島 奥山半島

奥山半島 奥山半島

一 奥山半島 奥山半島 奥山半島

奥山半島 奥山半島 奥山半島 奥山半島

奥山半島

奥山半島

奥山半島 奥山半島 奥山半島 奥山半島

奥山半島 奥山半島 奥山半島 奥山半島

奥山半島

奥山半島

奥山半島

奥山半島

奥山半島

一 京極院甲より今日も... 城...

十二月廿二日

一 南日為少孫... 中... 候...

一 石... 徳川... 出城... 其... 下... 人...

...

一 明... 上... 為... 成... 依...

...

一 伊... 津... 候... 城...

一 幕... 甲... 人... 城...

一 京後の中より今日も...

十日廿三日

一 尚日為少休... 中...

一 ...

右 竹...

一 ...

...

...

一 ...

一 ...

十二月廿九日

一 今、六甲の武家、赤坂川に居る品出、此の物種
也、赤川、品出、上子、急管、急、此の物種
武家出、急管、急

急管、急

急管、急

急管、急

赤川、品出、急管、急、此の物種、急管、急、此の物種、急管、急

一 伊豆の急管、急、此の物種、急管、急

一 赤坂川、品出、急管、急、此の物種、急管、急

急管、急

急管、急、此の物種、急管、急

急管、急

急管、急

急管、急

小野 百

山中 伊勢守

小野 一羽

松平 伊勢守

善治 一羽

山本 伊勢守

新留

平尾 伊勢守

小野 一羽

戸田 伊勢守

二月 晦日

清洲 御殿

右馬 守 伊勢守

城

御 對 顔

日光 伊勢守

清洲 御殿

伊勢守

山本 伊勢守

他 御 附

大 伊 勢 守

右 馬 守 伊勢守

日光山御使所
中 院

石室... 湯大...
日光山御使所
湯大...

撫葉一葉
定命一地利

日光山御使所
小宮 文吉

松竹一葉
松竹一葉

日光山御使所
足田 新太郎

二葉一葉
三葉一葉

日光山御使所
津本 茂平

例...
日光山御使所

日光山御使所
今村 茂平

石室... 日光山御使所
日光山御使所

日光山御使所

石室... 日光山御使所
日光山御使所

石室... 日光山御使所
日光山御使所

大角記

但瀬川... 津島... 津島... 津島...

乃... 乃...

乃...

中... 中...

中...

中... 中...

中...

石... 石...

石... 石...

一

石... 石... 石...

石... 石... 石...

小... 小...

大... 大...

二... 二...

川... 川...

新... 新...

新... 新...

小... 小...

是... 是...

戸... 戸...

石... 石... 石...

石... 石... 石...

一... 一... 一...

一
伊豆守
入道
藏

十二月河内書

戸田家女正

系後編中書

松平能成書

堀田忠清書

松浦越前書

根尾肥後書

柳中主膳書

由隆書

公書一冊

松平左衛門

松平伊織

古屋常刀

十二月朔日

御殿

御紋

大因守

安房大守

御筆
長田行成

右記

御札

御封

一
公書一冊
御筆
出印

御腹

川
御書
御印

細川

松平

毛利

日十

日十

口

岩物五
浪子作

左為二

口

口

「坂竹三夜子」

系訪

木海大守

嫁婿小丸

松平長司

系三浦海守

嫁婿小丸

大英右大臣

口

細川和泉

三本二巻

信成小丸

合地院

口系

智積院

法勝寺

秋田信成寺主
子孫

由圓寺

永井親貞

比納戸持

全三校
時辰二

第廿

日

多同

右年...
入御

昭順

大坂金三郎

初 三北市郎全

三

初 三北市郎全

佐友三郎全

日

比全市郎全

初 三北市郎全

市郎全

三北市郎全

一 尚自為...
一 尚自為...
一 尚自為...

瑞京女心

一 此礼...
一 此礼...
一 此礼...

水...
水...

水...
水...

尾...
尾...

成...
成...

尾...
尾...

村...
村...

右...
右...

清國之通商口岸及通商口岸之通商口岸
於大府下常女正書局相慶

但有通商口岸官樂文照の床年九月中
此下向の儀之件知中

紀伊中級之殿

心道之漢中在之其紙書之據P以紙
之 作中出紙

右記の市屋所之... 龍田書院西編載
説元中

紀伊中級之殿

村松の殿

右記

御意極成孔多上之... 遊園記出の旨
樂園集

一 細紙中... 松平清隆... 色別... 洋領物... 白書院... 紀伊中級之殿

時勝中

酒井在馬尉
各酒井新太郎

日二十

丹波乃家主人

名一西尾徳助

牧地住山崎

名一西尾徳助

瑞光紀伊

名一西尾徳助

日

日十

石室川 亦多古川相結りて流す 石室川 亦多古川
院 院敷列列 石室川 亦多古川 院 院敷列列

一 石室川 亦多古川 院 院敷列列 石室川 亦多古川

西尾徳助

名一西尾徳助

戸田子之助

戸田子

石室川 亦多古川 院 院敷列列

石室川 亦多古川 院 院敷列列 石室川 亦多古川

石室川 亦多古川 院 院敷列列 石室川 亦多古川

西尾徳助

名一西尾徳助

石室川 亦多古川 院 院敷列列

一 伊豆 亦多古川 院 院敷列列

城 亦多古川

十二月二日

叶版二

柳里但馬

中級備前子之孫等之系譜

右様是公家間先中到元正女心中後

叶版二

叶版二

山崎石濱

奥向大の総名、定度、田舎極海

子孫也、新、以、海、物、作、等、

叶版二

叶版二

曾根白後

皆川卯太郎

中級備前子之孫等之系譜

叶版二

近藤川三郎

尾松八太郎

沢田前太郎

金沢瀬太郎

叶版二

日勤子孫、由用多、出、相、勤、日、

公事

評定書
申付

町田友之丞

此用多之場初日ニ此等申付申付

公事

小宮宗平

奥向湯村御寄書ノ夜々山事極盛

此等申付申付

公事
町田二

石段由石等被立御取由及列位同宗同人
申付之者等申付申付

町田二

町田

流石部文書

此用多精申付申付

町田

保無之所

毒弁年人

根津山左衛門

遠山山左衛門

此用多申付申付

町田

此用多申付申付

町田

八三三

久々皆勤

河内守
青木源助

お徳様

五右衛門

浦の奴

櫻田河内守
大塚傳藏

お徳様

お徳様

お徳様

日三枝

お徳様

お徳様

西丸馬助

村松 田舎

お徳様

お徳様

お徳様

日三枝

お徳様

お徳様

お徳様

お徳様

お徳様

お徳様

日七枝

此用精筆五勤の日

此秋正原真行
此秋正原真行

松井古之助

此用精筆五勤の日

右於同席七度之同合後之信在田前

澤全武信

此用精

此用精筆五勤の日

後方同席真行
此秋正原真行

中野正高

此用精
此用精

此用精
此用精

此用精筆

山田正高

此用精筆

柳倉正高

此用精筆

市川正高

此用精筆

此用精筆

角正高

此用精筆

此用精筆

安田又右衛門

此用精筆

此用精筆

此用精

田村平吉

市島輝

平田友吉

市島輝

小島基吉

市島輝

市島輝

内田官次

後山吉太郎

田村多太郎

田村平吉

親世左史

田村平吉

寶生左史

田村平吉

親世平吉

宝生左史

宝生新吉

宝生了也

梅君六平

梅君左平

市島輝

市島輝

市島輝

田村平吉

親世第九
幸 小島門
寺 法源寺
首 市島
合 三島
親世八
合 三島
合 三島
合 三島
合 三島
合 三島

右於横火間之度、若幸、寺中、法源寺、市島、三島、

奥水用、三島、法源寺、市島、

日後

合三島

日西島

日三島

日三島

明三島

河合寺

日三島

明三島

日三島

日三島

日三島

日三島

日三島

中島藩治法身の花形神楽
石井新助全右衛門、重政傳中より、

中島藩

酒井内膳

有柳川宮姫宮常武子、
中下向、生石川用お出北、

口

松浦新元

同、中島藩治法身、

御意頼目人

中島伊藤

同、中島藩治法身、

口

長條信濃

同、中島藩治法身、

中島藩

伊東長善

同、中島藩治法身、

中島藩

石井新助

同、中島藩治法身、

中公文書館

石松守之助
中公文書館
中公文書館

但中公文書館
中公文書館
中公文書館

中公文書館

中公文書館
中公文書館
中公文書館
中公文書館
中公文書館
中公文書館
中公文書館
中公文書館
中公文書館
中公文書館

石松守之助

中公文書館

十二月二日

中公文書館

池田伊之助
久世政之助
松平求馬
堀田淡之助

中公文書館

井之修理
石川 重吉
七倉 琢学
七倉 維之助

石之 作付名、松山、吹上、中列、京女、口、
若年、号、中、侍、在

諸君、中、奥、中、
曾、我、周、
待、日、廣、

石之 新、銀、中、奥、中、
お、同、席、一、席、持、中、
お、同、席、一、席、持、中、

小十人堀

勤、
勤、
勤、

武、
武、
武、

石之 作付名、
若年、号、中、侍、在

奥、
奥、
奥、

何、
何、
何、

西、
西、
西、

小、
小、
小、

青、
青、
青、

石之 作付名、
若年、号、中、侍、在

申様一組

申様一組

日光山門前

右宜申為 御返書

工使并之仲

増上寺方丈

口

右同引分迄書之為申紙也

城下白雲寺院

御返書松平和泉守

一 伊古き 今日申書

城下

十二月四日

松平越中

右為家印紙也

城下白雲寺院御返書申

申様一組

日光山門前

中川松平

申様三

申様一組

松平伊織

申様二

八三三投
時服ニツ

山手頭

内山七之助

戸田みよ

右より、市川、堀、助、の、身、為、由、舞、台、下、台、於、
其、世、宮、間、先、中、列、列、列、列、列、列、列、列、列、列、
侍、之、元

八三三投

山手頭

酒房部支店

山手頭

古川五之助

大木金助

八三三投

山手頭

明樂八五所

小橋助八所

川村新六

長田宗八五所

松下忠左衛門

山手頭

小北市之助

山手頭

石川五之助

大木金助

八三三投

八三三投

八三三投

新田重成

一 岩田吉成

中尾服成

奥山之守

平井重成

山根重成

三向之守

伊作重成

神村重成

右田の分家等名、重成等、
同人名、後之、皆在名家

山根重成

山根重成

新田重成

新田重成

内山重成

永井重成

新田重成

新田重成

新田重成

新田重成

新田重成

新田重成

新田重成

山根重成

山根重成

山根重成

日三投

日一

一

人

日平

一

人

日拾

一

人

日少

一

人

日投

一

人

日五投

日海

一

人

日三投

日海

一

人

日二投

日平

一

人

日一投

日

一

人

右国分... 京...

日十投

日十投

日七投

日七投... 日十投...

本屋為人所

由録作

吉屋同情

由録作

安田松以

安田又吉

由録作

田村吉吉

栗田市翁

由録作

小濱吉冲

入江吉之助

由録作

口お枝ア

是 江九郎

由録作

白田吉郎

松平下坂市之丞

長濱地之助

由録作

伊波又右

松本公忠吉郎

右同の事等下等と同諸物出た同前同今

源之

由録作

迫屋吉左衛門

尾崎定次郎

今之頃
時辰三花

公事及了

全義段
皆破二ツ

公事及了

由勝會

吉勢傳之巻
川勝重正

貞徳天皇

吉原忠久
赤松重豪
赤松重豪
赤松重豪

赤松重豪

赤松重豪

公事及了
皆破二ツ

園田市赤松
山中重豪
仲次達之助
徳川公次郎
長谷部周助
石尾重豪
赤松重豪
赤松重豪
赤松重豪
赤松重豪

全書
時辰二

日記

福田 忠茂

永福 久太郎

見習

石川 富三郎

河原 隼人

山田 昌三郎

白根 中左衛門

多田 市兵衛

濱田 三三郎

尾形 勘次郎

中津 民治

柳 永市

横山 心玄

中岡 朋雄

奥野 徳久

松本 意久

法橋 實

石川 富三郎、河原 隼人、山田 昌三郎、白根 中左衛門、多田 市兵衛、濱田 三三郎、尾形 勘次郎、中津 民治、柳 永市、横山 心玄、松本 意久、奥野 徳久、中岡 朋雄、法橋 實

中津 民治

西下 宗水

如 為 流 治

中津 民治

右記 御方名於山吹河列在河系同人
日後之御座同系

諸君之御座同系

小堀下御座

赤坂御座

堀川御座

右中奥山吹河列在河系同人

勤方御座 京橋御座

一 伊豆守今日九時 城守

十二月廿

御座

御座

西丸御座

二 御座

小堀御座

赤坂御座

西丸御座

堀川御座

火消御座

堀川御座

二 御座

安方御座

西丸御座

堀川御座

日經系
赤坂市古河法

石於
清和
仲等

中書院系
法苑系
糟屋八藏

菟一阿

交野系
子之阿

伊东岩丸
名村系

名村系
多分系

清和系
名村系

向井百藏

永光系
山下派花

中川系
小川系

竹村派花

石川 延治 年四十一

延治 年四十一 八

川 延治 年四十一

石川 延治 年四十一 延治 年四十一 延治 年四十一

漱 濁 河

延治 年四十一

延治 年四十一

延治 年四十一

石川 延治 年四十一

延治 年四十一

石川 延治 年四十一

延治 年四十一

延治 年四十一

延治 年四十一

延治 年四十一

石川 延治 年四十一

延治 年四十一

延治 年四十一

延治 年四十一

石川 延治 年四十一

福中...
...

...

松平上様
松平大守
細川公

右女中...
...

一分...
...

伊豆...
...

十二月六日

一分...
...

伊豆...
...

十二月七日

金地院

僧祿藏之 御延之日
此所禱出之 他之勤
月並ふと云く 此の仕

右此白書院 御延先中列在定女心 中 後

中 此
言亦此場之延

時 時之

河 此之 祝
後 村 亦 此 場

右 此 先 書 院 御 延 先 中 列 在 定 女 心 中 後

御 延 先 中 列 在 定 女 心 中 後 御 延 先 中 列 在 定 女 心 中 後

右 此 先 書 院 御 延 先 中 列 在 定 女 心 中 後 御 延 先 中 列 在 定 女 心 中 後

中 書 院 者
臣 智 日 會 延 員
糟 屋 八 花

右 此 先 書 院 御 延 先 中 列 在 定 女 心 中 後 御 延 先 中 列 在 定 女 心 中 後

此 中 後
時 時 之

中 智 積 院

右 此 先 書 院 御 延 先 中 列 在 定 女 心 中 後 御 延 先 中 列 在 定 女 心 中 後

今三三
時辰二

東嶽山

青龍院

右之列鏡山
由帳等系
字於遊端
同八

沈括致ツ

中
同
坊

大槐家英

安井他知

井上同碩

林門晚

伊波家清

安井之云英

大槐家浪

井上云英

元 丈

安井他得

時辰二

右帳等系
字於同席
同八

中興出小

大波信濃

曾我周防

越川大和

松平石見

向後
御前信注

右記 伊豆守 今口也也 城之

列記 伊豆守 今口也也 城之

但田中台 今口也也 城之

一 伊豆守 今口也也 城之

十二月九日

系 伊豆守 今口也也

田中台藏

右記 伊豆守 今口也也 城之

伊豆守 今口也也 城之

伊豆守 今口也也 城之

伊豆守 今口也也 城之

伊豆守 今口也也 城之

伊豆守 今口也也 城之

口

伊豆守 今口也也 城之

伊豆守 今口也也 城之

伊豆守 今口也也 城之

伊豆守 今口也也 城之

伊豆守 今口也也 城之

伊豆守 今口也也 城之

伊豆守 今口也也 城之

伊豆守 今口也也 城之

時波二枚

17

時波二枚

時波二枚

17

17

17

17

17

時波二枚

17

17

17

掛
松平合人

石原合人

水尾宅馬

時波二枚

戸山久八

白杉平馬

中山源助

奥田格之九

守屋又三郎

池永甚之次

水尾辰助

井之川信

用八留書活意

時辰十枚
二枚
二枚

11

11

11

11

時辰十枚
二枚
二枚

時辰十枚
三枚
三枚

11

11

時辰十枚
二枚
二枚

11

11

11

石井田原

大谷三郎

中沢 日新

上田 昌

丹羽 六馬介

丹羽 景書

丹羽 景書
物守

金子
子田 七六丈

秋保 源之助

石川 武助

分泉 吉茂

尾川 武助

17 17

時辰三枚
時辰三枚

時辰三枚
時辰三枚

17

時辰二枚
時辰二枚

17

八木 采公 丈

國守

元治元年

松平信綱の家来

為守

高田下 伝

為守

武庫川 教馬

浪神 為守

元之 為守

寺西 新藏

藤田 金藏門

2000/14

赤坂 吉右衛門

山田 流兵衛

刺之 被合 方吉

小池 平次 為守

腕 新藏 為守

松平信綱の家来

為守

秋保 源 為守

流兵衛

石河 藏 為守

17 17

時辰十枚
時辰二枚

17

時辰三枚
時辰三枚

時辰三枚
時辰三枚

口

時辰十枚
二枚

元ノ義留居

美原上六丈

因守

恒川 高尾

元ノ

福尾 周助

勘定奉行

小川 徳次郎

湯治 紀伊 高尾

勘定奉行

● 西 左衛門 宗瑞

湯治 奉行

神代 信左衛門

口

口

時辰十枚
二枚

元ノ用人

宮地 二之丞

名代 西村 四郎 又次郎

用人

相原 四郎

勘定奉行

長 清 興

勘定奉行

西村 四郎 又次郎

元利 大 勘定奉行

勘定奉行

● 西村 全 之 水

勘定奉行

高 山 藏 助

名代 池田 治 左衛門

時辰三十枚
二枚

時辰三十枚
三枚

口

右系簿也此而札以授之乃上之御札也
尚少保忠實方

一 伊豆守人白先也

城守

御式調
福書調

正圓符

伊东長壽

右之 伊守分給新番不花福家女正圓符
城守抄澤田信房

正圓符

伊东長壽

源田用聖次之臣

仙石治房

右之 伊守分給河内京抄伊中目正圓符

一分九中時山信孫分吹正圓符為 成

十二月十日

氏名

飯田能光

一

時辰

右一投取用向兼相勸也打以兼洋取相之
治身家以兼空間先中列度家女心口渡

西九

山

時辰

日

平田

一

時辰

右一投取用向兼相勸也打以兼洋取相之
治身家以兼空間先中列度家女心口渡
中侍

西九

山

時辰

日

平田

西九

山

平田

日

一

時辰

久遠見極之露

市下控在露

古記勅定

荒外年云

日部

日三夜

右之飛代設和共形實中由用不定云云外日
此用多由勸由打日省常一為同席同入候

此位同書

石川三右衛門

杉崎惣之助

涉之叔

漢由庭。御成之江見也示御勅

四角打日智常

表坊

氏家家久

中村乃替

於不清南

湯川善長

田中友傳

矣代久云

如安久洲

東島信雄

近道盛隆

涉之叔

久遠見極之露

日

花田云矣

涉武投り

古田幸彦
野村甚之助
本村家南
田中友信

素由右記新世見記大因等由因等
五個山名記向水余心誠也其等
記下

聖教口授

涉三投り

石川秀悦
过乃悦
赤井松吹
中津島

久々之懐急相勤以分下

上杉燦火河原度、赤松傳中より

一 寧守分爲何清持院由之立力水戸中殿より
出城階之山名例、於此産聖廟下通安女心
他池川台之刻也上至分赤札心並同

一 右同引分由因本より

御其之梅、出城階之山名何於遊園河内同
右后松浦教宗

一 右同引分水戸殿水戸中殿より

赤松君次、出城階之山名何於河内通安

右居同人

一 伊豆守 公日也 城

十二月十一日

一 公日時 由信指 吹之 西居 公為 如 奇射
上 賢人 云々

附服二

貞章 後 海 用 人
白 永 中 心 也

右 考 出 松 樹 勤 日 分 常 各 指 出 右 軍 勢 在 海 敵
宗 女 心 中 渡 之 若 年 長 中 侍 在

後 地 改
指 物 改

右 月 守
八 回 僅 創 改

右 考 似 曾 名 持 刺 諸 事 之 也 滿 同 人 中 渡 之

由 意 考 之 右 考 云々

酒 井 房 為 守 妻
隱 居 松 平 肥 前 守 妻
隱 居 松 平 右 京 守 妻

右 考 女 中 一 人 矣 使 在 右 考 云々

一 伊賀守の御書
城守

十二月十二日

一 博信院様
御返書

但一昨十日曉大奥女中内申安座候事
姫君様御徳候事御返書

付殿
小笠原平兵衛

右の如く御返書申上り候事
上様 御返書申上り候事
奥右様御返書申上り候事
若年号中御返書

有揚川之御返書申上り候事
御返書申上り候事
清水新右衛門
長谷川左衛門

石川之御返書
御返書
石川之御返書
御返書

石於同席一人尸後之

由北龍北北之方之也

小川 吉平前

三宅 徳久前

新久保 三郎

松平 金吾前

栗山 忠雄前

大久保 忠房前

川内 村次前

三浦 平九郎前

戸田 忠雄前

間宮 権之助

由北龍北北之方之也

平 忠 岩 吉 前

山本 元 忠 前

長 川 忠 助

渡 辺 忠 助 前

中 系 平 助

西 條 忠 雄 前

三 宅 忠 房 前

三 宅 忠 房 前

行 川 忠 房 前

山 本 忠 房 前

宮 内 忠 房 前

三 宅 忠 房 前

渡 辺 忠 房 前

公 事 後 乎

— 中根十郎左衛門

新撰書法集道徳記

— 二浦守成

大正書法集大正書法

— 豊田清七右衛門

口 豊田清七右衛門

— 如藤一甚多郎

— 大谷保三右衛門

口 大谷保三右衛門

— 上原田郎左衛門

口 上原田郎左衛門

— 岩間勘吉

口 豊田清七右衛門

— 豊田清七右衛門

— 大谷保三右衛門

口 大谷保三右衛門

— 淡島清吉

小室清吉

淡島清吉

— 依田小波左衛門

長谷川

平尾清吉

— 小室清吉

石室清吉

— 御堂清吉

— 豊田清吉

右之部(抄本)

伏見御一宮

後醍醐天皇

紀伊中納言殿

口

口 中多右衛門

水戸中納言殿

口

口 秋元半介

尾花中納言殿

口

口 中多右衛門

水戸中納言殿

右之部(抄本) 為此礼記伊勢水戸殿水戸

中納言殿

城守中納言院西條宗満宗女心

但中納言中納言殿水戸殿中納言

上使少納言新八郎

坊之守宗文

伏見御一宮

右之部(抄本) 力取礼

城守中納言院西條宗

湯山宗宗通

尾花中納言

水戸中納言殿

右之部(抄本)

上使少納言新八郎 為沙礼

湯山宗宗通 湯山宗宗女心

一 伊吉... 人... 白... 水... 城...

此物教

御
星落 二冊
雜略 二冊
中位... 一冊

眼

雜略 一冊
中位... 一冊

是村... 後...
神... 卷... 後...

還御... 行...

御... 行...

眼

中位... 一冊

多居... 載... 三...

口

能... 河... 行...

小... 一冊

山... 小... 勇... 作...

中位... 一冊

山... 城... 中... 位...

府局

松... 平... 仁... 石... 屋...

小... 一冊

中... 位... 一冊

中... 位... 一冊

雜略 一冊

神... 保... 大... 寺... 所...

小路 百

小十人
小出九系三九七
本村九四四

十二月十日

松平 主税助

右上方分影言は遠航にお遠之旨子は初師
第1重名於波之間先中列於定女心平後

細川 黄剛殿

名代 増岡 宗以

甲府 勤事 宗以

出羽 勤事 宗以

「越川 鶴之丞」

名代 増岡 宗以

徳政 宗以

「新公 娘」

西九 山崎 宗以 宗以 道

勤事 宗以 宗以

中興 社 宗以 宗以 宗以

「胡 宗以 宗以 宗以」

大浦次

安藤氏宗助

流流女

大浦氏宗助

五家

小林氏宗助

出雲氏

新永合宗助娘

赤井氏宗助

五家

曲淵氏宗助

中津氏宗助

川井氏宗助娘

西丸氏宗助

中津氏宗助

北小納戸

杉浦安六郎

杉浦宗助

石野之通源氏

信守氏宗助

先中野馬島列在同人宗助

宗助氏宗助

宗助氏宗助

堀大和宗助

宗助氏宗助

宗助

宗助氏宗助

池田氏宗助

宗助氏宗助

出匠人百助方より宛

定如平候

寄公

池田内通以妹
為公より平八郎
横田 二王様
名代様同様に前

出匠御方より宛

太保帯刀様

大御所様

小室様御用事

中川 帯刀

御母方より宛

右退婚目録お物迄取願ひ申上
同席を以て書付候儀

大由書

竹中 全殿

右願ひ通下在浦迄申上
是迄言願ひ申上別在定如平候

浦七十枚

持世書川院

口二十枚

持世書川院

夜くは書由用多御用事申上

右持世書川院御用事申上

若年号中侍在
但伊川中侍之長八列在云々

三ノ公子ノ御

三ノ公子ノ御

小室後之改改
武方油多入流
勤内並之在而是之也後持也下

右ノ侍有之、同席列在、同家、同人、中侍之
侍在、同家

儒者

右ノ美、油助

時服二

夜ノ中、由利多ノ勤、中侍

中人

江島五人志也

油助

油助

於字、字、和、侍、就、仕、の、中、侍、

右ノ侍、同席、同人、中侍、之、侍、在、同家

中侍

忠田清助

油十五段

字、同、不、並、務、多、古、所、之、侍、就、仕、の、中、侍、

右ノ侍、同席、同人、中侍、之、侍、在、同家

小室後之

油、多、平、十、前、之、記

油助、左川

油二十段

夜ノ中、由利多ノ勤、中侍

右行遊瀟湘若平舟中此序亦於瀟湘中與平侯

明教寺屋坊

了悟

明教寺屋坊

柱

了悟

了悟

了水

了悟

了巴

新觀由切系武拾像花

西大心

也

了悟

了悟

了悟

了悟

了悟

了悟

了悟

了悟

了悟

明教寺屋坊

右控燬火河内度、若年身中、初元京控後中、
早渡之

時辰三

林 大星額

度之、其用多、由勤、
備在

右控古、皇威光中、列在、女、早渡、若年、
備在

此控後

深田、
本村 又物

川内度

川内度

同 為物

深田、
深田、
深田、

右控、新、
備在

此控後

板谷 控 意

度之、
備在

右控、
備在

一、
備在

一、
備在

十二月十日

一 今更子時... 清書院

出清... 清書院

婿女婿... 禮

綿子記
全三代

尾張中持
氏成... 氏

石相... 清書院

出清

婿婿... 禮

出清... 干

松平... 氏

婿女婿... 禮

口三

石田... 氏

氏... 氏

婿婿... 禮

口二

永井... 氏

系勤

出清... 氏

堀田... 氏

口

久世... 氏

多尾... 氏

里田... 氏

大尾... 氏

口

弟... 氏

口

口 口 口 口 口

口

由多口一編
八之七
由多口一編

由多口一編
八之七

由多口一編

由多口一編

牛林川

家夢

秋田乙

湯屋

秋田信濃

名代

初

内

福永

湯屋

合地院

一糸一巻

由多口一編

由多口一編

17

住

持

大

由多口一編

酒

地石

由多口一編

遠

二

送

明友

〇 〇 〇

由納戸

〇 〇 〇
同 徳兵衛

〇 〇 〇
同 三十一

〇 〇 〇
同 亦治

甲名川由重
尺分由用仕
〇 〇 〇

市能三郎

石平三郎

介

一 當日為由納戸屋敷之役名之由生之由下
福大助

石平三郎、由納戸屋敷之役名之由生之由下
元中

幸物
二種一箱

婿の物は由納戸屋敷之役名之由生之由下

堀 玄 馬

松平加賀守

一様一節

如婚嫁の儀に於ては、
御座候事

右於橋ノ河内大炊頭

若御十
二様一節

婿女婚嫁の儀に於ては、
御座候事

右於遊園河内大炊頭

御座候

御座候
松平肥後守

津田格平

御座候

沢井因書

御座候

前田忠幸

若御三
一様一節

一様一節

婿女婚嫁の儀に於ては、
御座候事

右於橋ノ河内大炊頭

御座候

堀 玄馬

御座候

津田格平

御座候

神保大左衛門

御座候

小村忠兵衛

口

右ノ一ノ子ハ子ハ何カ

御城ノ事ハ多ク有リヨリ分爲出極大ノ事ナリ此石等
御城ノ事ハ多ク有リヨリ分爲出極大ノ事ナリ此石等

御者

市村川ノ事ハ何カ

大ノ事ナリ分爲出極大ノ事ナリ此石等
核ノ事ナリ分爲出極大ノ事ナリ此石等

御者

御者

大ノ事ナリ分爲出極大ノ事ナリ此石等

右ノ事ナリ分爲出極大ノ事ナリ此石等
家ノ事ナリ分爲出極大ノ事ナリ此石等

一ノ事ナリ分爲出極大ノ事ナリ此石等 成

一ノ事ナリ分爲出極大ノ事ナリ此石等

一ノ事ナリ分爲出極大ノ事ナリ此石等

勤

一ノ事ナリ分爲出極大ノ事ナリ此石等
大ノ事ナリ分爲出極大ノ事ナリ此石等

十二月十六日

松平九郎

頼之守家元門一人説是
江 作付

右松平白書院御教書中列在御座中

二叙景

松平漢語

右江 作付色柱同席列在因和同入中

二叙一 二叙

伊勢守

石川門居

通頭

松倉輝之

主事

大関 吉之

主事

大保常刀

出立

山内 松平

主事

赤倉 右京

丹後守

松浦全之助
儀形子尚

新六色地丸
新六色子尚

田沼繁之助
田沼繁子尚

大和守子尚

松平重九
大和守子尚

徳川守子尚

牧野新右衛門
河内守子尚

三宅守子尚

酒井新右衛門
新右衛門子尚

三宅守子尚

松浦三穂松
肥後守子尚

佐藤守子尚

物部重正
物部重正子尚

三宅守子尚

水島徳之助
水島徳之助子尚

大田守子尚

竹中重敏
竹中重敏子尚

小笠原氏

時屋源公

通以

中身由

杉浦重

若林

泊本根源

肥後

右 諸君之 仰 曾 各 控 同 席 列 在 因 可 同 人
中 渡 之 著 年 号 中 信 氏

小笠原氏

八 因 忠 仁 氏

大 渡 氏

小 渡 氏 又 河

安 房 氏 藏 助

戸 田 氏 膳

堀 田 氏 幸 之 助

山 田 氏

山 田 氏 幸 之 助

山 田 氏

中 多 氏 信 隆

田 根 氏 信 隆

荒 川 氏 信 隆

古 屋 氏 信 隆

柳 原 氏 信 隆

由瀨市史

由瀨院考

長安日分徳久

糟屋八郎

西九由瀨院考

京田中彦

由瀨院

小山新吉

西九由瀨院

久留湯之彦

大井野郎

由瀨院

波部頼母

西九由瀨院

佐橋忠彦

奥由瀨院考

秋山松之丞

石布衣

伊賀守松葉堂

同人中渡之若年

由瀨院

佐藤忠彦

西京七下河

小村右橋

西京七下河

説書

中野定之助

徳島県上野

松平忠徳

上野介

西尾市

徳島 正吉

徳島県

山名 玄蕃

徳島県

西尾市

平尾 与次郎

徳島県

西尾市

七尾川 岩之助

徳島県

中野

中山 勘次郎

神保町 大工

朝比奈 新次郎

杉浦 忠兵衛

西尾市

有田 七郎

西尾市

堀本 一甫

西尾市

古田 瑞吉

川崎 宗瑞

増山 嘉三郎

卯辰

法眼

石江 作付名松林其ノ間中前島列道大坂段
片原ノ若手方中前島九言傳流

葛重海流一頁

塩船一箱

日

秋上初冬

石ノ下重海ノ片原河津津邊ノ若手ノ前島列道

紀伊列道

作ノ下重海

水ノ流傳

若手ノ前島

片原河津邊

下ノ重海

若手ノ前島

酒ノ流傳

酒ノ流傳

他ノ流傳

一 石ノ下

御流傳由因知方石流傳由因知方
因流傳由因知方石流傳由因知方

一 石ノ下

御流傳由因知方石流傳由因知方

他
御流傳由因知方石流傳由因知方
松島流傳由因知方

此勅宣旨... 勅宣旨... 勅宣旨...

中村長宗

右 宣旨... 宣旨...

宣旨...

宣旨...

宣旨...

宣旨...

右 宣旨... 宣旨...

宣旨...

宣旨...

右 宣旨... 宣旨...

宣旨...

宣旨...

宣旨...

宣旨...

宣旨...

宣旨...

宣旨... 宣旨... 宣旨... 宣旨... 宣旨... 宣旨... 宣旨... 宣旨...

十二月十七日

一人胡紅葉山 御家

御公代 牧中徳宗

御代

御代

御代

青山之志

石於

御代

御代

日多由之記

修福院

右例月也初禱由札是也今之御代大乃禱

但宗女心續禱之

由因

二種

同

一人

右宗女心續禱之為由初禱由札是也今之御代大乃禱

也

御代 御代 御代 御代 御代 御代 御代 御代 御代 御代

結

御代

御代

元

海

右江藏之 仙舟金控由白雲院御書院充中列所
京女心平後之 増上寺方丈坐席

中本神之
四條子二
校榜一書

由後戸田橋

日先由川迄

右迄之由や山守迄之其本廿日

御對顔之 花乃口付申也 城山之 仙舟

一 明子八日紅葉山 御宮並物 御宮並物

御系詣由仙舟お付之 仙舟

一 伊吉も末也 城山

一 京女心平御執人自也 城山由原高御勤

十二月十日

一 今おまふ京女廣河城由之紅葉山

御宮並物 御宮並物 御系詣由仙舟

おまふ 還清

一 還清以後為何御控候之由京女申接候

後者之京女 於還清河請京女心

一 右内り兼池川を主殿下
由城跡子兼池川所
有下諸同人

一 右内り兼六月梅田西九六出書を
城跡兼高野敷池水能き不致

一 學九日演書有主為
成日由佐橋内河
作出

一 伊豆の東に
城跡

十二月十九日

一 今お州西佐橋坂下由り
演書有主為 成
六中子字より 還清

度 物 在 前
与 丹 大 切 也

本中絶云致

右中絶中絶致也
是女順娘也
在入長教子
二系中絶致
兼娘也
在入長教子
一條
中絶致也
由願在由絶絶也
他中絶致也

水之中納殿
書中得殿

右在願之在清以經也 仰出以爲此也

城控由白雲院雪嶺願通元中

一右因以爲此

御卷揮依之也心依之傳以之也
遊過湖通由田居二湖亦因情也

山登之序二

右日傳中
右日傳中

右在下名松乃之商分中一列凡家女之中心

八系到技

由幕之序

大師片門
右在下名松乃

右先之數分願之在也

御免且幸其以進之相勤也
於此右名松乃通湖列之因和同

奥東之序

右由清之內中書也

表由石也

秋山全之序

右行菊 尚御敷列 凡因亦同 八ノ後ノ者
年号 申侍云

由美殿御

田中後川

右通ノ日 光由川 迄由ノ心 以乃 迄之者
由美殿御 御敷列 凡因亦同 八ノ後ノ者

由美殿御

大倉御守

右行 御敷列 凡因亦同 八ノ後ノ者

由美殿御

何殿ニ

二 端坊

京中 御敷列 凡因亦同 八ノ後ノ者

廣御殿

八幡 御敷列 凡因亦同 八ノ後ノ者

妙 敷

八幡 御敷列 凡因亦同 八ノ後ノ者

鐵 泥

石 御敷列 凡因亦同 八ノ後ノ者

八幡 御敷列 凡因亦同 八ノ後ノ者

河 公 就 氏

右 御敷列 凡因亦同 八ノ後ノ者

西宮の鳥居

右之鳥居の鳥居

城の鳥居

上段の鳥居

鳥居丹波

一 伊豆の鳥居

城の鳥居

鳥物教

御

鳥物 七羽
小鳥 八羽
尾鳥 一羽

脇

小鳥 二羽

林 肥後

小鳥 二羽

神尾豊後

小鳥 二羽
尾鳥 一羽

鳥打後

村

鳥居

鳥居

小山内記

西宮の鳥居

鳥居

水井鳥居

口

鳥居

十二月廿日

日光山門跡

石を、由り、由り、由り、城、於、西、湖、成、合、合、合、

於、御、所、御、所、御、所、

御、所、

合、

合、合、合、

大、合、合、

合、合、合、

合、合、合、

合、合、合、

石、御、所、御、所、

一、伊、豆、豆、豆、城、

十二月廿日

一、歳、書、為、以、後、後、石、石、石、石、石、石、石、石、

より後名使僧を以て服式免然とて松平廣河守
前出参る事由著松平右近将監也此等事

一右内より為出候條

大納言柳右一死し不使名使僧を以て服式免
然とて此等事由著松平右近将監也此等事

但
大納言柳西出候事
西九分所服九掛候事由著松平右近将監也

紀伊中納言殿

右内より忠沙以候條

公方柳 大納言柳 附服式免
此等事由著松平右近将監也

水戸中納言殿

尾張中納言殿

徳川右大臣殿

松平如賀也

松平豊後也

松年裁新也
 松年出羽也
 松年振津也
 松年厚系也
 松年大和也
 松年滑津也
 松年安氣也
 松年播磨也
 松年相模也
 松年入道也

松年以子行
 松年厚系也
 松年安氣也
 松年裁後也
 松年滑津也
 松年宗系也

右同部書
 松年宗系也
 同席「龍」同部

一 右國の島田後援

御書に梅成の由は白浪の技を連川を主敵と

白浪武技

梅成の由は白浪の技を連川を主敵と

白浪武技 梅成の由は白浪の技を連川を主敵と

一 右國の島田後援

御書に梅成の由は白浪の技を連川を主敵と

白浪武技 梅成の由は白浪の技を連川を主敵と

御書に梅成の由は白浪の技を連川を主敵と

一 右國の島田後援

御書に梅成の由は白浪の技を連川を主敵と

御書に梅成の由は白浪の技を連川を主敵と

御書に梅成の由は白浪の技を連川を主敵と

御書に梅成の由は白浪の技を連川を主敵と

御書に梅成の由は白浪の技を連川を主敵と

御書に梅成の由は白浪の技を連川を主敵と

御書に梅成の由は白浪の技を連川を主敵と

御書に梅成の由は白浪の技を連川を主敵と

御書に梅成の由は白浪の技を連川を主敵と

御書に梅成の由は白浪の技を連川を主敵と

御書に梅成の由は白浪の技を連川を主敵と

侍所

由書之卷二

上使神皇正統記

堀田大藏右輔

石見守之丞の御札
城下系之御札
松平九道右衛門

一 於奥津御所御座りて先中野島若年寺中
西尾若見物に仰付

一 今世所由御座り

大納言梅大廣間西出縁へ御入

入

一 伊豆守御座りて城下

奥津御所

室の事

繪具 丁作 三品奉 為代
丁云 市忠守

因道茶出

信長

忠彦 二平節 乃仁守 在古

水波新茶出 仁七守

石

親世主人

古藤氏

市島氏

石台

竹

室主人

新之屋

三島氏

要成

分

松平氏

心電

松平

物吉

吉成

石

十人

葛城氏

吉成

吉成

礼

八人

河津氏

河津氏

河津氏

河津氏

京極氏

河津氏

河津氏

石

河津氏

河津氏

十二月廿二日

松平記後子

松平廣政

石高同部松平

城守部系書院後子中

松平文行

由之

長田清次

松平伊豆守就高氣清政

御弟現頼以頼之在清政

御弟之出公序成之病氣使

出勤之員相伺依之信

右松平重忠公調元中列座定女心中後

一松平伊豆守清政 御弟之在清政之弟分

而之松平同部列座同系同人後

但右之級由重忠之弟之弟也

右之重忠之弟下同人書院現

貞言院殿内人

白紙一丁

御書出度書

本堂七丁

申領

大寺全領

明樂八丁

御書出度書

卷三丁

御書出度書

次浦助

此紙子

馬場助

小寺

通後

川

之

西

江

西

西

永く御書出度書 御書

右松田右衛門尉宗徳列位同席同入申候
若年長中一西九若年長

出松田右衛門尉
出若年長

松井右衛門

出若年長

右松田右衛門 御下候 御座 御座 御座 御座
出若年長 申候 申候 申候 申候
若年長 申候 申候 申候 申候

申候
出若年長
出若年長

右松田右衛門 御下候 御座 御座 御座 御座
出若年長 申候 申候 申候 申候
若年長 申候 申候 申候 申候

申候
出若年長
出若年長

右松田右衛門 御下候 御座 御座 御座 御座
出若年長 申候 申候 申候 申候
若年長 申候 申候 申候 申候

一右松田右衛門 御下候 御座 御座 御座 御座

清光寺。寺上人。因房。説也。田舎名。世。并
之。改。也。

日。主。也。院。修。持。僧。

修 禅 院

右

清光寺。相。寺。年。言。由。後。改。法。成。也。礼。

清光寺。相。寺。年。言。由。後。改。法。成。也。礼。

形。意。也。也。也。也。

外。中。之。初。大。師
東。院。中。也。
歸。回。折。津。也。
立。於。山。上。也。

松。平。外。能。心。也。

「 権。村。渡。河。也。

石。於。奥。洋。領。也。

石。於。奥。洋。領。也。

一 村。田。次。也。也。

日。主。也。也。也。也。

一 大。塚。也。也。也。

石。於。奥。洋。領。也。

南。條。也。也。也。

一 河。次。也。也。也。

石。於。奥。洋。領。也。

亦。也。
河。次。也。也。也。

書付相續

水鏡傳云

今村在江都

公之取 大納言權 清盛權

後祥隆後 公采言 由後俊

為公之由孔 多事

但英孫守

公之權 公之言 公之位 公之由

右於源國 國道由尾川 市

一 鄭之由 由祥隆 由後俊 公之位 公之言 公之位 公之由

此此水鏡傳 公之位 公之言

清盛權 公之位 公之言 公之位 公之由

公之位

一 明中二日 於此 是書院 見所 此之 公之位

十二月廿二日

清盛權

公之位

由因村

西九由因

石公同切

西九由因

由因定

沢次郎

右於 由因

官位

由因

由因

作

由因

由因

中

由因

由因

中

由因

由因

松平上

由因

西九由因

能

由因

由因

山

由因

西九由因

年

由因

由因

世

一
由因
院

全三行

全三行

口

口

口

口

口

口

口 口 口

全三行

全三行

全三行

全三行

里山

松平漢語

官位

古井伊豫

石川通海

板倉之水依

大塚兄弟

大塚保出

山内遠江

赤松丹後

口

松浦儀助

新田越前

田沼長計

大塚

松平大端

牧野河内

大塚

酒井振隆

大塚

松浦肥後

口 口 口 口 口 口

甲子一
全神
老也

沼馬代

八三三

口
徳島藩

口
三好

口
水田園

口
大田

口
竹中

口
小田

口
野原

口
中野

口
杉浦

口
河内

口
家督

口
松平

口
文筆

口
伊豆

口
徳島

口
三好

口
大田

口
竹中

口
小田

口
野原

口
中野

今更行

〇

今更行

今更行

〇

田舎家文所

大源玄存

小島宗誠之助

全田 貞敬

石川 岩之丞

元虎田内守
大塚 忠成

松浦 然之助

印伝書

以之助 忠成

小島 宗誠之助

島田 宗成

道長 十善

徳永 忠成

日根 忠成

市川 忠成

曲淵 水馬

由伝

高次 忠成

坂部津守

出立

右部之若成

小出又次郎

出立

七条若成

内山若成

入津川之若成 津守之若成

山物川

家傳 一回之若成

初 一回之津守

入津川之若成 津守之若成

出立口内之若成

右部之若成

内山若成

三宅若成

銀三行

石平之若成

入

松平和泉守

大久保安房守

阿部若成

阿部若成

由平右京亮

由平右京亮
物部朝臣中
松平右近將監
松平右近將監
水原右近將監
小室左衛門尉
久世左衛門尉
脇坂左衛門尉
有馬左衛門尉
青山左衛門尉

右之海軍中將
渡

由平右京亮

由平右京亮

由平右京亮

由平右京亮

由平右京亮
由平右京亮

由平右京亮
由平右京亮

并之飲之思... 水也... 法之...
并之飲之思... 水也... 法之...

三尾津殿後之

流川去治所

公之極 大德之極 御意極

上使在... 由... 事...

乃... 乃...

一石... 一石...

清... 清... 清...

一... 一...

公之極

心... 心...

一... 一...

如... 如...

如... 如...

大... 大...

解... 解...

日... 日...

日... 日...

公一乃條
大儀之條
御書

御書

御書

御書

御書

御書

由使

女中

御書

御書

大由水成由湯湯之ぬをいれぬ丸かじり

十二月廿五日

一分朝上邸

孝養院極 御書

御書

御書

御書

日成由院使信

櫻 依 院

石巻院宮為由遺物之あしき御書

御書

清文堂一第

由同人修習

修 福 院

石川町

御書極少、差上、同席記、由、同、書、石、川、根

大内記

由系一第
由元一第

増上守方人

密梅一第

小石川

傳 延 院

右第之書、由、此、修、習、也、
此、松、川、白、雲、院、也、

龍光中

由勸定公傳授

龍光中

時辰式元

國松八右衛門

右、第、之、公、小、第、修、習、也、
此、松、川、白、雲、院、也、

勸、定、公、之、書、也、
此、松、川、白、雲、院、也、

宗女、中、下、院、

由勸定公傳授

太、田、作、多、清

福、寺、

右後以席列於河内郡人戸後之

古今圖書集成

北河玄路

張七段

右之殿園學敏也其世祖以傳世信行其言
如河席同入戸後之若年其甲信也

古今

志曰將監

火津上陽之口

古今圖書集成

古今圖書集成

古亦尼門

右之殿園學敏也其世祖以傳世信行其言
如河席同入戸後之若年其甲信也

右之殿園學敏也其世祖以傳世信行其言

張七段

小路 蘭山

右之殿園學敏也其世祖以傳世信行其言
如河席同入戸後之若年其甲信也

古今圖書集成

常山 瑞見

桂川 南園

山崎 宗運

古今圖書集成

池田 瑞地

張七段

石門の奥にあり

清原河

田舎の掛り

戸田家女心

石門 清原河 作中

此系一巻
北巻一巻

坊上寺方人

石門の奥にあり
清原河の奥にあり
石門の奥にあり
清原河の奥にあり
石門の奥にあり
清原河の奥にあり

一 今頃より分りて中記式より中記式
清原河の奥にあり

十二月廿日

一 今頃より分りて中記式より中記式
清原河の奥にあり

水口殿様

水口殿様

二巻一巻

一様一為

水戸中務使

多田瀨之瀨

順姫由水戸御出

此後儀

水戸御使

是日新左衛門

二様一為

水戸御使

人見又兵衛

一様一為

鄰姫由水戸御出

此後儀

右新 遊馬之洞道宗女

但右因引

御奉極水戸御一様一為水戸中務使

一様一為水戸御使

有馬中務使

是日新左衛門

賜布十丈
二様一為

右新 和刻名符

他石新左衛門

是日新左衛門

是日新左衛門

是日新左衛門

口

賜布十丈

石... 御... 院... 由... 後
由用相勤... 中
列公... 人... 後...

由... 後...

永井...
板倉...
板倉...
水...
三...

右... 同... 人... 後...

萬... 河

由... 後...

河... 後...

長... 後...

板... 後...

西... 後...

但... 後...

三... 後...

石... 後...

火... 後...

十... 後...

長... 後...

長... 後...

由... 後...

十... 後...

西... 後...

中... 後...

成瀬安次郎
長河中流

西九郎
之

坪内右膳
之

長谷川景行
之

上杉然之助
之

西九郎
之

近山勝太郎
之

清和

在

是田介
之

吉川
之

川勝伊之助
之

中多
之

大保十
之

佐理
之

武田
之

山

或...子

伊予...
...

...

神保...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

酒井 五郎 宗子 宗子 宗子

川島 一 宗子 宗子

名代 牛 宗子 宗子

名代 牛 宗子 宗子

名代 牛 宗子 宗子

神 宗子 宗子

名代 牛 宗子 宗子

名代 牛 宗子 宗子

名代 牛 宗子 宗子

田中 宗子 宗子

名代 牛 宗子 宗子

名代 牛 宗子 宗子

名代 牛 宗子 宗子

名代 牛 宗子 宗子

名代 牛 宗子 宗子

名代 牛 宗子 宗子

名代 牛 宗子 宗子

名代 牛 宗子 宗子

名代 牛 宗子 宗子

名代 牛 宗子 宗子

名代 牛 宗子 宗子

名代 牛 宗子 宗子

名代 牛 宗子 宗子

名代 牛 宗子 宗子

名代 牛 宗子 宗子

名代 牛 宗子 宗子

名代 牛 宗子 宗子

名代 牛 宗子 宗子

名代 牛 宗子 宗子

激湍間

此動受性也

後小川字子助

坂田庫子助

後代石川又台

海兵衛子助

小島後方島分儀

海兵衛子助

海兵衛子助

海兵衛子助

海兵衛子助

海兵衛子助

海兵衛子助

海兵衛子助

十三年

久保 換上

名代 海兵衛子助

久保 換上

利之助

秋原 海兵衛子助

名代 川

西尾 海兵衛子助

海兵衛子助

海兵衛子助

海兵衛子助

海兵衛子助

海兵衛子助

海兵衛子助

海兵衛子助

市島 海兵衛子助

石見の商人の後、後在石見

安芸守の志願
新法山古志願
名代、石見守、利、為

石見守

石見守

伊能守志願

石見守

石見守

石見守

石見守

石見守

石見守

石見守の商人の後、後在石見

石見守

石見守

石見守

石見守

石見守の商人の後、後在石見

石見守

石見守

石見守

石見守

石見守

石見守

石見守

石見守

石見守

石見守

石見守

石見守

石見守

11

平尾七郎(彦)

11

白井源五郎

治三子長
時辰三子長

治三子長

牧 宗 書

治三子長
時辰三子長

治三子長

村代次郎(彦)

治三子長
時辰三子長

治三子長

渡名三子(彦)

11

渡名三子(彦)

村之助(彦)

11

池之宮(彦)

11

池之宮(彦)

渡名三子(彦)

右之部

御堂後所室具院主(彦)

渡田周相勤(彦)

右之部

右之部

津波伊多(彦)

里貝(彦)

右之部

伊分(彦)

同(彦)

神皇正統記卷之六

桂山之亂

小笠原忠良

流落

石上之亂
石上之亂由是後田用掛の勳功を以て

西尾忠信

西尾忠信

日食

石上之亂
石上之亂由是後田用掛の勳功を以て
同人

小笠原忠良

小笠原忠良

由是

石上之亂

由是

村山

由是

日食

小笠原忠良

由是

石上之亂
石上之亂由是後田用掛の勳功を以て
同人

由是

遊之技

之方也此也

由位同分

加者少御

由並位守

小村証無意

今二日

右位同分守下名お境方河堀河折津中殿

十二月廿六日

一公卿上御

主心院御

御頭之御

御代二条末之御

一室明之御二家方徳川守末殿中御

殿御生御御持姫之御二家方御下御

宗女心

一右位同分

御代御二家方

由殿御二家方御

御代御二家方御

御代御二家方御

御代御二家方御

勅使

院使

伊達若狭守
名上松之助

関 但馬守

代り

九鬼利元

右之方奉書系向之公孫流地之人
於帝臨前乞申別庄定安下下

在奥平郡

里貝八郎

右之方奉書系向之公孫流地之人
於帝臨前乞申別庄定安下下

代り

在奥平郡

下 子川 伊多治

代り

在奥平郡

下 庄 伊多治

代り

在奥平郡

下 庄 伊多治

代り

在奥平郡

下 庄 伊多治

代り

在奥平郡

下 庄 伊多治

代り

在奥平郡

申助定之
申助定之
申助定之
申助定之
申助定之
申助定之
申助定之

与素水也

中村文彦

中村文彦

母一高也

一也尾高一也

右行遊端之間先中刻刻定女心下後

小美信海而授也

中村文彦也

中村文彦也

中村文彦也

中村文彦也

板倉派作

中村文彦也

中村文彦也

一横高也

中村文彦也

中村文彦也

一入至改花

中村文彦也

中村文彦也

浦北三也

大貴之也

中村文彦也

池永夕也

三也

田中忠也

中村文彦也

百也

勤也

クも

也

也

上野村内
三ノ柳ノ景
也
此後同也

湯浅之庄
正田周平

小宮河井田
也
也

長沼具之助

安友寺
也

也
也

名
也

也
也

山本之保助

也
也

原田又四郎

也
也

也

也

石井量助

也
也

友邦同席同人ノ演説者年三月中得尺

岡本龍作

前田玄成

小室信子

中野東彦

酒井但馬守

又原勘定

馬場令一

尾形徳次郎

17

福田瑞次郎

17 岡田五郎

「松平隆次郎」

十二月廿日

松平越之助

大和子

「松平大隅」

文藝春秋

「打小倉」

17

「松平」

「松平」

17

「松平」

松平

中書院書院紀重臣

次郎志成

中書院書院紀重臣

再臨 一 次郎志成

後唐節義傳

一 横山ノ義経

日勤者

庄司若菜

再臨 一 小栗流流流流

中書院

一 中書院書院紀重臣

西宮書院

一 初田要人

中書院

次郎志成

右列ノ各條ニ
列ノ各條ノ中ニ
中書院書院紀重臣

西宮書院

初 一 松平伊豆守
各ノ一 中書院書院紀重臣

初 一 古井伊藤守

大是之松守

初 一 石川通守

町領流流流

水冲之流流

坂田流流流

日勤者

小笠原通隆

右下各控居間列在回系同八日後

西九中因身

時波二

河次高古等

由勘定必曉收勘定中其公小笠原
由收今九立之儀也打由勘定

右控由右各控居間列在回系同八日後

若年長中傳在

松平頼朝

右居所今日依此之由中由九十一日後白

書院記等由抄中陳述至中

百中野村傳

物二

野村作伴

右在服分前後之間女子等書相續如依抄中

小笠原

三乃取九日後

西九系九日後

西九系全中

幼山門何系

山田海兵衛

右 御守名御權力間若年長中 西九系全

系控居中各日後

一 是部が濃く遠くを頼遠場子に居る。以下二重名
常女心お宅を中列たて居る。心は淡く市中

光川
傳通院

右
威光院柳中室塔中住持以中施物送る。福
也礼也。城形白書院御影福水水口全形也
但由居家一上福

一 明中八月並に出其外也礼居る

十二月廿一日

御座間

出役書

玉造御代

二九由向の居
女考九部公書院

小出大物

右新 清心堂 御代

一 今更新致す。此より清心白書院

出清月並し法。礼は京下一回為。清
但一回出礼為。清心堂。京下一帝徳成。京下早徳。

一木一平

自藏
結城
弘經寺

成宮
山王様列位

御院持傍心

浄川
賞樹王院

霊運院

中王様列位
樹下日向

神田外神倉

足利氏
本川殿列位

大系院

連教
里村昌造

衆一同

連教
連教師

藏書
水礼

浪二
里々志

口

子

糸

唐子

系河派

出流戸持

蔵書出札

聖物二

後友庄三所

時股

吳脂印書

唐子

幸河派因持

右平田平西子口

合清

一尚貞茂也後以屋造叙後高直為皇太子於
大廊下御家女心

紀伊中納言

水戸中納言

水戸中納言

右出礼而居於威之宮由祥後帝上之於

河内書院西御敷御免中

松平如久

松平越前守

右内侍如忠經出杉戸隱居同系

帝世河内御免

威之宮御免
P. 16

御前書院

洞法

石之洞

三石

中之洞

奥書名

石之洞

石之洞

石之洞

石之洞

石之洞

石之洞

石之洞

石之洞

石之洞

石之洞

石之洞

石之洞

石之洞

石之洞

石之洞

石之洞

十二月廿九日

紀伊及使名

極 一袋

小出之守

水戸使名

張書一袋

入道六郎

尾道使名

推草一袋

江戶使名

水戸使名

例鈔二冊

水戸使名

石重隆の御用度目録

通事書

他之書目録

一石田の御用度目録

中津藩御用度目録

由重の御用度目録

一石田の御用度目録

御用度目録

御用度目録

他御用度目録

御用度目録

御用度目録

高合殿

名号中二水
中林 雲南

殿前業出精之故也
冲繩一版之奉り由所法
様付と出精之公

右様由方名は御家宗女
中江屋

瀬田島

東八

膝取

小林定八

右二 作付金格瀬田河若多
先中

瑞中

一 明朝日例年也

出取

秋山了海

出取

右二 皆勤作
瑞中



